Microsoft.AZ-720.v2024-01-22.q106

試験コード:	AZ-720
試験名称:	Troubleshooting Microsoft Azure Connectivity
認定資格:	Microsoft
無料問題数:	106
バージョン:	v2024-01-22
アクセス数:	491
ページビュー数:	1060
https://www.jpnpdf.com/Microsoft.AZ-720.v2024-01-22.q106-mondaishu.html	

最新問題: **1**
企業は Azure VPN ゲートウェイを使用してオンプレミス環境に接続します。
会社のオンプレミス VPN ゲートウェイは、いくつかのサービスで使用されています。1 つのサービスで接続の問題が発生しています。
すべてのサービスのダウンタイムを最小限に抑え、接続の問題を解決する必要があります。
どの 3 つのアクションを実行する必要がありますか?
A. VPN ゲートウェイを停止します。
B. Azure VPN ゲートウェイとオンプレミス VPN ゲートウェイで異なる事前共有キーを構成します。
C. ハッシュ アルゴリズムが両方のゲートウェイで同じになるように構成します。
D. Azure VPN ゲートウェイとオンプレミス VPN ゲートウェイで同じになるように事前共有キーを構成します。
E. VPN 接続を停止します。
F. ハッシュ アルゴリズムが両方のゲートウェイで異なるように構成します。
Answer: B,C,D (メーッセージを残す**)**

最新問題: **2**
会社には Azure Active Directory (Azure AD) にユーザーがいます。同社はユーザーが Azure AD を使用できるようにします
多要素認証 (MFA)。
User1 という名前のユーザーは、追加のセキュリティ検証を設定中に次のエラーが表示されたと報告しています。
MFA の設定:
ごめん！あなたのリクエストを処理できません。セッションが無効か期限切れです。処理中にエラーが発生しました
セッションが無効か期限切れのため、リクエストしてください。もう一度試してください。

ユーザーが MFA セットアップを完了できるよう支援する必要があります。
あなたは何をするべきか？
A. セットアップ プロセスを 10 分以内に完了するようにユーザーに指示します。
B. Microsoft 365 管理ポータルから、ユーザーの [このユーザーのサインインをブロックする] オプションをオフにします。
C. Web ブラウザのキャッシュをクリアするようにユーザーに指示します。
D. ユーザーに正しい確認コードを入力するように指示します。
E. Azure AD ポータルから、ユーザーのパスワードをリセットします。
Answer: (解答を表示する**)**

最新問題**: 3**
企業は、Azure VPN Gateway を使用してオンプレミス ネットワークに接続します。オンプレミス環境
には、ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) を使用してゲートウェイに個別にトンネリングする 3 つの VPN デバイスが含まれています。
新しいサブネットはオンプレミス ネットワークから到達できないようにする必要があります。
解決策を実装する必要があります。
解決策: ルート伝播を無効にしてルート テーブルを設定します。
解決策は目標を達成できますか?
A. いいえ
B. はい
Answer: A (メーッセージを残す**)**

最新問題**: 4**
ある企業は、ネットワーク仮想アプライアンス (VNA) と Azure Route Server を異なる仮想ネットワーク (VNet) でホストしています。デフォルト ルートをルート サーバーにアドバタイズした後、NVA 間でボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) ピアリングが有効になり、インターネット接続が失われます。
NVA で問題を解決する必要があります。
あなたは何をするべきか？
A. NVA サブネット上にユーザー定義ルートを構成します。
B. ルート サーバーを NVA と同じ VNet に移動します。
C. NVA 上で一意の自律システム番号 (ASN) を構成します。
D. ルート サーバー上でパブリック IP アドレスを構成します。
Answer: C (メーッセージを残す**)**
2 によると、Azure Route Server をネットワーク仮想アプライアンス (NVA) とともに使用する場合、各 NVA がルート サーバーの ASN や他の BGP ピアの ASN とは異なる一意の ASN を持つようにする必要があります。そうしないと、BGP ループ防止メカニズムによりルーティングの問題が発生します。

独自の構成ツールまたはコマンドを使用して、NVA 上で ASN を構成できます。詳細については、2 を参照してください。

最新問題: **5**
ある企業は、ジャストインタイム (JIT) 仮想マシン (VM) アクセスを展開しています。
ユーザーは、JIT VM へのアクセスを要求できないと報告しています。
ユーザーが JIT アクセスを要求するために必要な権限操作を決定する必要があります。ソリューションでは、最小特権の原則を使用する必要があります。
どの権限操作が必要ですか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。
注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Answer:

最新問題: **6**
企業は、オンプレミス ネットワークと Azure 仮想ネットワークの間に Azure サイト間 VPN を構成します。
通信網。
同社は、設定を完了した後、VPN 接続を確立できないと報告しています。
接続の問題をトラブルシューティングする必要があります。
まず何をすべきでしょうか?
A. AzureClient.pfx ファイルが存在することを確認します。
B. AzureRoot.cer ファイルが存在することを確認します。
C. 次の PowerShell コマンドレットを実行して、共有キーを識別します。
Get-AzVirtualNetworkGatewayConnectionSharedKey。
D. 次の PowerShell コマンドレットを実行して、共有キーを識別します。
Get-AzVirtualNetworkGatewayConnectionVpnDeviceConfigScript。
Answer: D (メーッセージを残す**)**

最新問題: **7**

ある企業は、Azure Load Balancer の背後にある 4 台の Standard_D2_v3 仮想マシン (VM) に新しいファイル共有アプリケーションをデプロイします。同社は Azure Firewall を導入しています。ユーザーから、使用量のピーク時にアプリケーションが遅くなるという報告がありました。エンジニアの報告によると、各 VM のピーク使用量は約 1 Gbps です。
少なくとも 10 Gbps をサポートするソリューションを実装する必要があります。
スループットを向上させるには何をすべきでしょうか?
A. ネットワーク クォータの増加をリクエストします。
B. VM インスタンスのサイズを増やします。
C. Azure Firewall を無効にし、代わりにネットワーク セキュリティ グループを実装します。
D. 2 台のサーバーを別のロード バランサーの背後に移動し、Traffic Manager でラウンド ロビン ルーティングを構成します。
Answer: B (メーッセージを残す**)**
この目標を達成するには、VM インスタンスのサイズを増やすことが最善の選択肢です。Standard_D2_v3 仮想マシン サイズの最大ネットワーク帯域幅は 1 Gbps であるため、VM インスタンスのサイズを Standard_D8_v3 以降などの上位層に増やすと、より多くのネットワーク帯域幅が提供され、アプリケーションのパフォーマンスが向上します。
ネットワーク クォータの増加を要求するオプション A では、必要なネットワーク帯域幅を達成するには不十分な場合があります。
オプション C (Azure Firewall を無効にしてネットワーク セキュリティ グループを実装する) は、ネットワーク帯域幅に大きな影響を与えない可能性があります。
オプション D では、2 台のサーバーを別のロード バランサーの背後に移動し、Traffic Manager でラウンドロビン ルーティングを構成すると、可用性とパフォーマンスが向上する可能性がありますが、ネットワーク帯域幅は増加しません。
出典: [1] https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-machines/windows/sizes-general [2] https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual -network/designing-hub-spoke-topologies#ハブとスポーク vnet 間のデータ転送の最適化

最新問題**: 8**
VM1 からのインターネット トラフィックがインターネットに直接ルーティングされる問題を解決する必要があります。
あなたは何をするべきか？
A. RT12 の IP アドレス プレフィックスを変更します
B. RT12 を Subnet1a に関連付けます。
C. RT12 を Subnet2a に関連付けます。
D. RT12 のネクストホップ タイプを変更します。
Answer: B (メーッセージを残す**)**
これにより、インターネット トラフィックを仮想ネットワーク ゲートウェイ VNG1 に誘導するルートを持つルート テーブル RT12 が、VM1 が配置されているサブネットに確実に適用されま

す。これにより、インターネット トラフィックをインターネット ゲートウェイに送信するデフォルト ルートが上書きされます。

最新問題: **9**
ある会社には Azure Active Directory (Azure AD) テナントがあります。同社は、Azure Active Directory Domain Services (Azure AD DS) インスタンスをプロビジョニングしています。
ユーザーは、Azure AD からプロビジョニングされた後、Azure AD DS にサインインできないと報告しています。ユーザー アカウントが Azure AD DS に存在することを確認します。
問題を解決する必要があります。
あなたは何をするべきか？
A. Azure AD でパスワードを変更するようにユーザーに指示します。
B. Azure AD Connect をデプロイします。
C. Azure AD Domain Services Sync という名前の Azure アプリケーションを削除し、Azure AD DS を再度有効にします。
D. AzureActiveDirectoryDomainControllerServices という名前の Azure アプリケーションを削除し、Azure AD DS を再度有効にします。
Answer: A (メーッセージを残す)

最新問題: **10**
ある企業は、Azure でジャストインタイム (JIT) 仮想マシン (VM) アクセスを有効にしています。
管理者は、Microsoft の JIT VM アクセス ページの [サポートされていない] タブで VM のリストを確認します。
Defender for Cloud ポータル。
一部の VM が JIT VM アクセスでサポートされていない理由を特定する必要があります。
どう結論づけるべきでしょうか?
A. 管理者には SecurityReader ロールがありません。
B. VM はクラシック デプロイメントを使用してプロビジョニングされました。
C. 管理者には、VM への JIT アクセスを要求する権限がありません。
D. 管理者は Microsoft Defender for Cloud の無料枠を使用しています。
Answer: B (メーッセージを残す)

最新問題: **11**
ある企業は、Azure Backup エージェントを使用して、オンプレミスの仮想マシン (VM) から特定のファイルとフォルダーをバックアップします。
管理者は、バックアップ ジョブのファイル転送が遅いと報告しました。バックアップ ジョブがボリューム全体をスキャンしてディレクトリ内の変更を検証していると判断します。
バックアップ ジョブの状態を確認する必要があります。
バックアップはどの状態で行われますか?

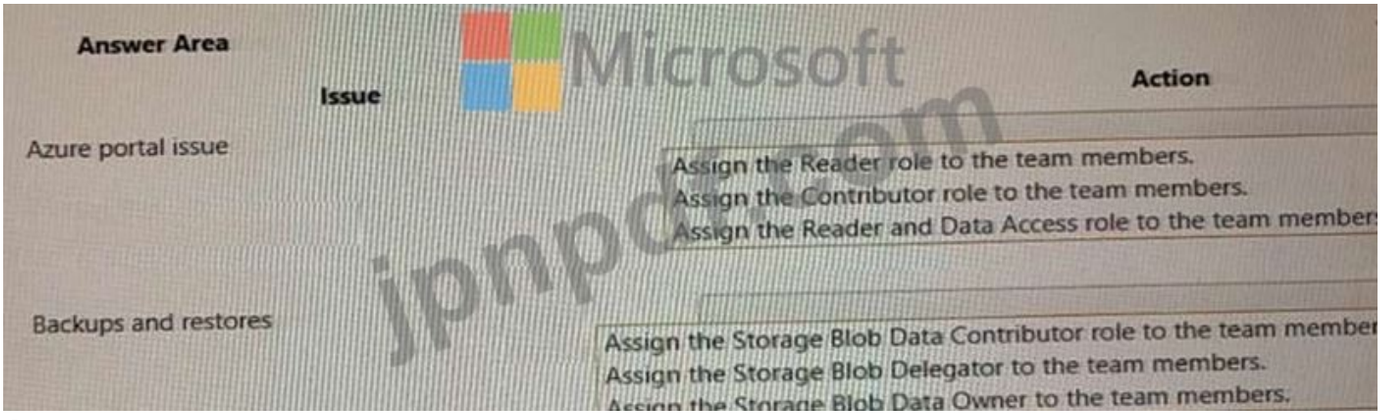
Answer:

最新問題**: 12**

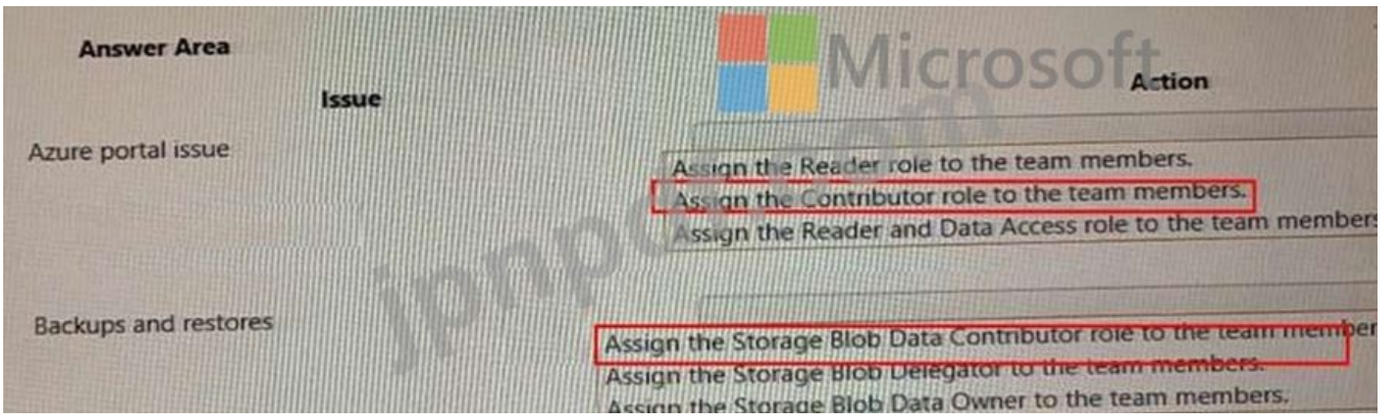
問題を解決する必要があります。

あなたは何をするべきか？回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。



Answer:



最新問題**: 13**
ある企業は、複数のリージョンで Azure 仮想マシン (VM) を使用しています。VM の構成は次のとおりです。

Server name	Resource group	Availability set	Virtual network	Region
VM1	RG1	AVSet1	VNet1	East US
VM2	RG1	AVSet1	VNet1	East US
VM3	RG3	N/A	VNet2	East US 2

ILB1 という名前の内部 Azure ロード バランサー (ILB) のバックエンド プールには、VM1 と VM2 が含まれています。ILB は Basic SKU を使用し、リソース グループ RG2 に属します。
VNet1 と VNet2 の間に仮想ネットワーク ピアリングが構成されています。
ユーザーは、VM3 から ILB1 を使用して VM1 と VM2 上のリソースに接続できないと報告しています。
接続の問題を解決する必要があります。
あなたは何をするべきか？
A. VM1 と VM2 を可用性ゾーンに再デプロイします。
B. ILB1 を RG1 に移動します。
C. VM 1 と VM2 を RG3 に移動します。
D. Standard SKU を使用して ILB を再デプロイします。
Answer: (解答を表示する**)**

最新問題**: 14**
ある企業は、オンプレミスの Windows 仮想マシン (VM) を Azure に移行します。管理者は、Azure portal を使用して VM のバックアップを有効にします。
同社は、Azure VM バックアップ ジョブが失敗していると報告しています。
問題のトラブルシューティングを行う必要があります。
解決策: 現在の VM バックアップ ポリシーの保持範囲を構成します。
解決策は目標を達成できますか?
A. はい
B. いいえ
Answer: B (メーッセージを残す**)**
現在の VM バックアップ ポリシーの保持範囲を構成しても、Azure portal を通じて VM のバックアップを有効にした後に Azure VM バックアップ ジョブが失敗する問題が解決される可能性は低

いです。この問題をトラブルシューティングするには、管理者はまず Azure VM バックアップ ジョブ ログを確認し、提供された特定のエラー メッセージまたはコードを特定する必要があります。これは、根本的な問題と適切な解決策を特定するのに役立ちます。
したがって、質問に記載されている解決策は不正確であり、答えは B です。いいえ。
参照：
Azure VM バックアップの失敗のトラブルシューティング (Microsoft ドキュメント)

最新問題: **15**
ある会社は、プロバイダー接続モデルを使用して ExpressRoute を実装することを計画しています。
会社は ExpressRoute 回線を作成します。回線を通じてリソースに接続できません。
サービスプロバイダーのプロビジョニング状態を確認する必要があります。
どの PowerShell コマンドレットを実行する必要がありますか?
A. Get-AzExpressRouteCircuitPeeringConfig
B. Get-AzExpressRouteCircuitRouteTable
C. Get-AzExpressRouteCircuitConnectionConfig
D. Get-AzExpressRouteCircuit
E. Get-AzExpressRouteCircuitARPTable
Answer: B (メーッセージを残す**)**
サービス プロバイダーのプロビジョニング状態を確認するには、PowerShell コマンドレット Get-AzExpressRouteCircuit を実行する必要があります。1 によると、このコマンドレットは、プロビジョニング状態やサービス プロバイダーの状態など、ExpressRoute 回線に関する情報を返します。これらのプロパティを使用して、回線が Azure と接続プロバイダーの両方で有効になっているかどうかを確認できます。

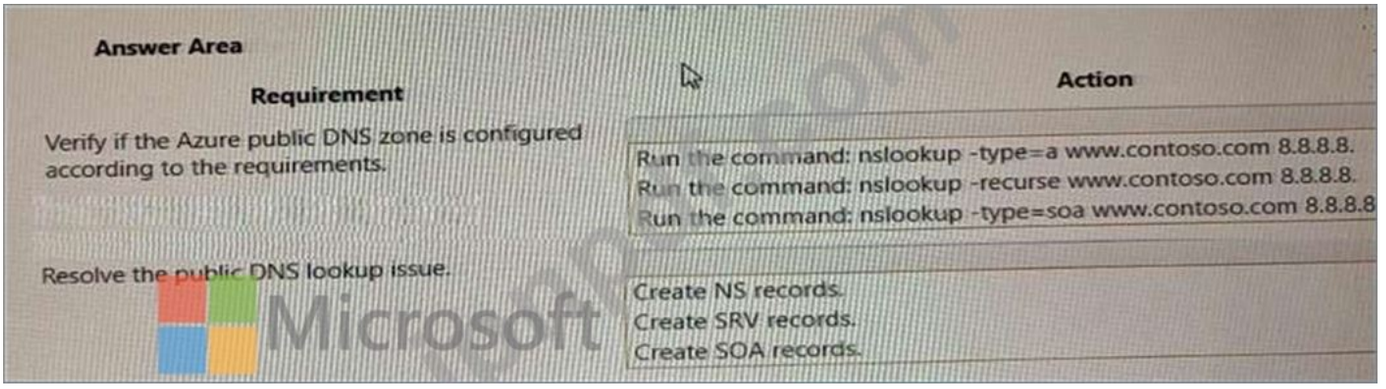
最新問題: **16**
ある企業はセルフサービス パスワード リセット (SSPR) を実装しています。
会社のデータセンターでファイアウォールをアップグレードした後、SSPR が機能しなくなります。
問題を解決する必要があります。
SSPR の接続を許可するには、ファイアウォール上に存在する必要がある 2 つの URL はどれですか?
A. *.passwordreset.onmicrosoft.com
B. *.svc.ms
C. *.servicebus.windows.net
D. *.adl.windows.com
E. *.update.microsoft.com
Answer: (解答を表示する**)**

最新問題: **17**

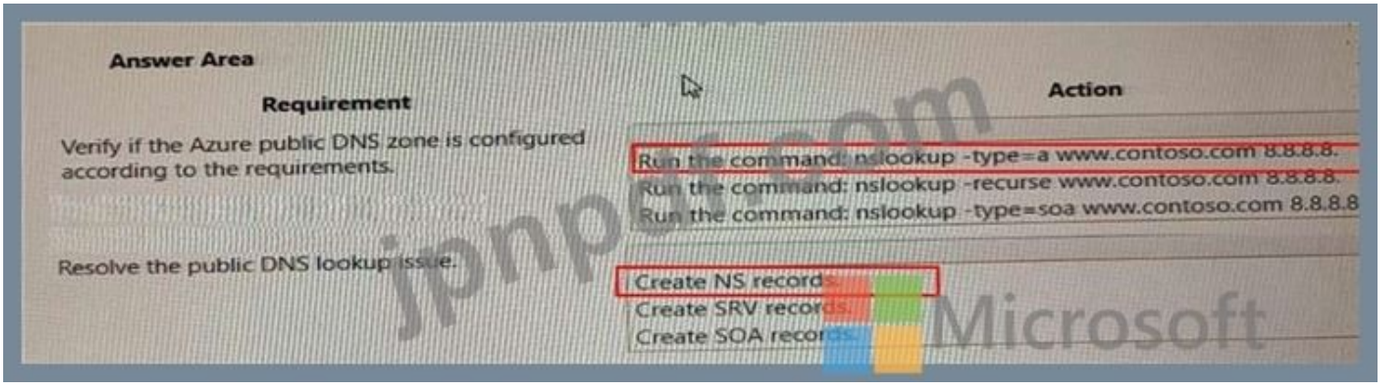
パブリック DNS ルックアップの問題をトラブルシューティングして解決する必要があります。

あなたは何をするべきか？回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。



Answer:



最新問題: **18**

ある企業は、オンプレミスの Windows 仮想マシン (VM) を Azure に移行します。管理者は、Azure portal を使用して VM のバックアップを有効にします。

同社は、Azure VM バックアップ ジョブが失敗していると報告しています。

問題のトラブルシューティングを行う必要があります。

解決策: 管理権限を使用して VM ゲスト エージェントをインストールします。

解決策は目標を達成できますか?

A. はい

B. いいえ

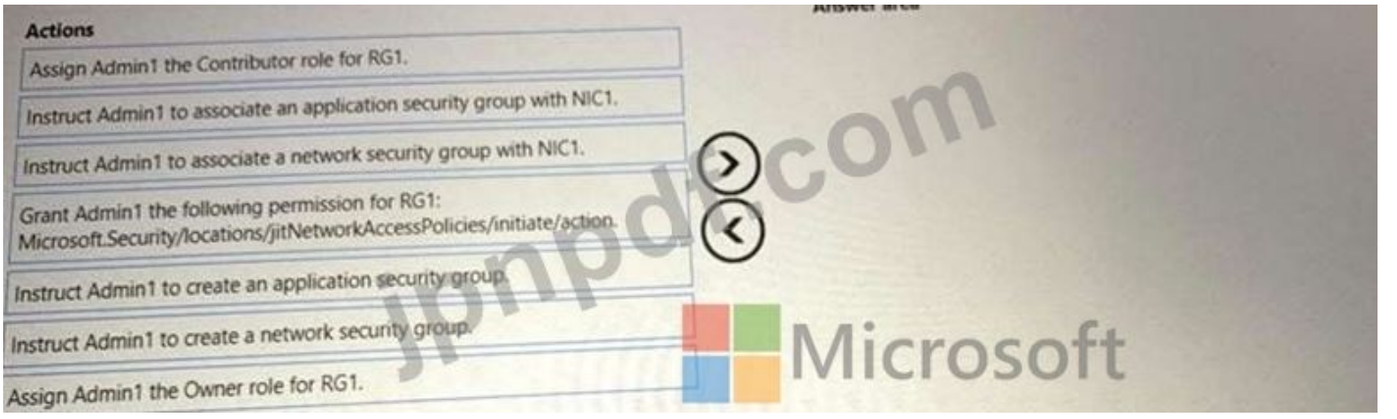
Answer: (解答を表示する)

はい、管理者権限を使用して VM ゲスト エージェントをインストールすると、Azure portal 経由で VM のバックアップを有効にした後に Azure VM バックアップ ジョブが失敗する問題を解決できる可能性があります。Azure で仮想マシンをバックアップする場合、VM とバックアップ サービス間の適切な通信を可能にするために VM ゲスト エージェントをインストールする必要があります。エージェントをインストールするには、管理ユーザー アカウントが必要です。
したがって、質問に記載されている解決策は正しく、答えは A. はいです。
参照：
Azure で仮想マシンをバックアップする (Microsoft ドキュメント)

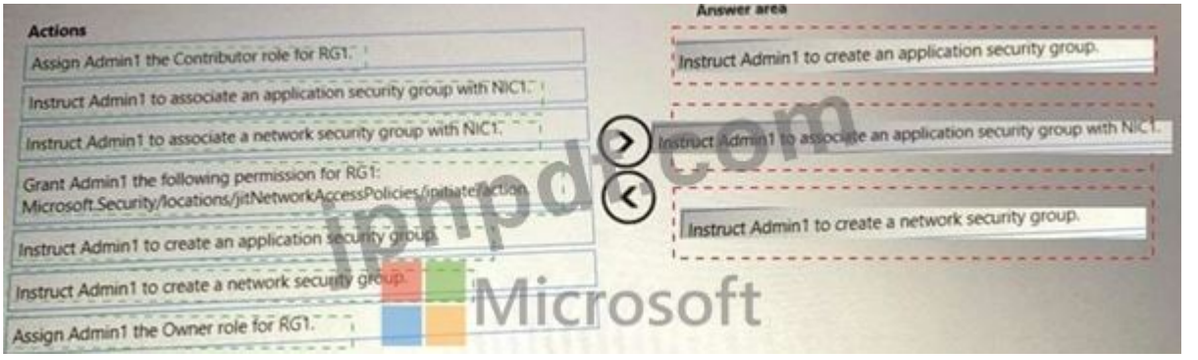
最新問題: **19**
企業は Azure VPN ゲートウェイを使用してオンプレミス環境に接続します。
会社のオンプレミス VPN ゲートウェイは、いくつかのサービスで使用されています。1 つのサービスで接続の問題が発生しています。
すべてのサービスのダウンタイムを最小限に抑え、接続の問題を解決する必要があります。
どの 3 つのアクションを実行する必要がありますか?
A. ハッシュ アルゴリズムが両方のゲートウェイで異なるように構成します。
B. VPN ゲートウェイを停止します。
C. Azure VPN ゲートウェイとオンプレミス VPN ゲートウェイで同じになるように事前共有キーを構成します。
D. VPN 接続を切断します。
E. ハッシュ アルゴリズムが両方のゲートウェイで同じになるように構成します。
F. Azure VPN ゲートウェイとオンプレミス VPN ゲートウェイで異なる事前共有キーを構成します。
Answer: C,D,E (メーッセージを残す**)**
すべてのサービスのダウンタイムを最小限に抑え、接続の問題を解決するには、次の 3 つのアクションを実行する必要があります。C. Azure VPN ゲートウェイとオンプレミス VPN ゲートウェイで同じになるように事前共有キーを構成します。D. VPN 接続をリセットします。E. ハッシュ アルゴリズムが両方のゲートウェイで同じになるように構成します。

最新問題: **20**
顧客は Azure サブスクリプションを持っています。サーバー用 Microsoft Defender がサブスクリプションに対して有効になっています。の
顧客はネットワーク セキュリティ グループを構成していません。
顧客は、次のリソースを含む RG1 という名前のリソース グループを構成します。
* VM1 という名前の仮想マシン。
* VM1 に接続されている NIC1 という名前のネットワーク インターフェイス。
顧客は、Admin1 という名前のユーザーに RG1 に対する次の権限を付与します。
Microsoft.Security/locations/jitNetworkAccessPolicies/write。

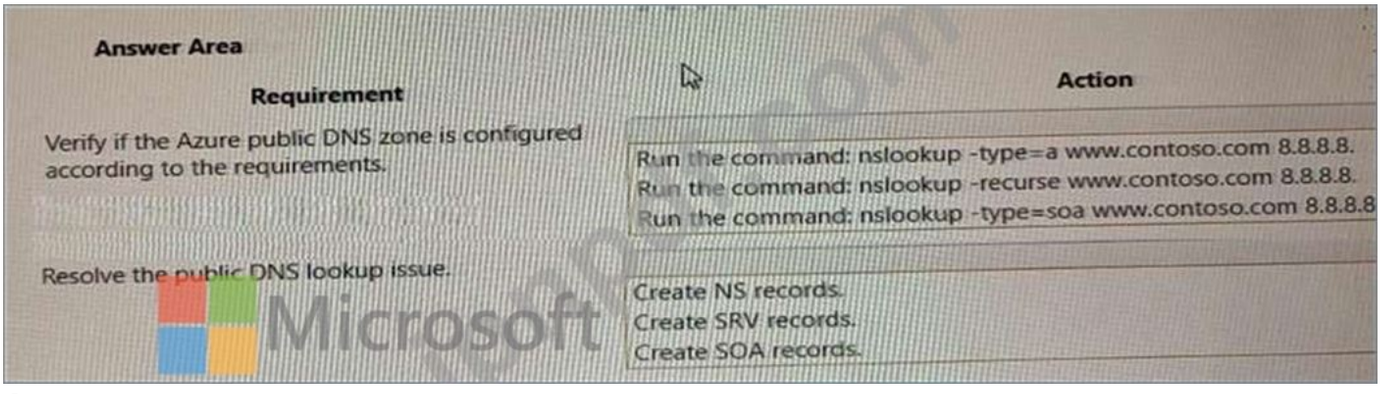
Admin1 は、Azure portal の JIT VM アクセス ウィンドウにエントリが表示されないと報告します。閲覧するとき
同じペインで、VM1 が [未サポート] タブに表示されます。
Admin1 が VM1 に対してジャストインタイム (JIT) VM アクセスを有効にできることを確認する必要があります。溶液が付着する必要があります
最小特権の原則に従う。
順番に実行することをお勧めする 3 つのアクションはどれですか?
回答するには、アクションのリストから適切なアクションを回答領域に移動し、
正しい順序。



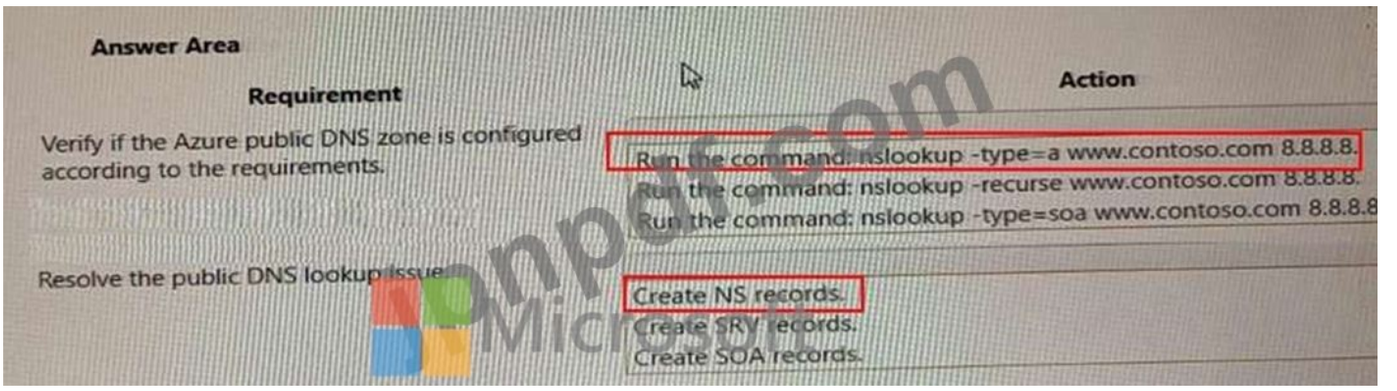
Answer:



最新問題**: 21**
パブリック DNS ルックアップの問題をトラブルシューティングして解決する必要があります。
あなたは何をするべきか？回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。
注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。



Answer:

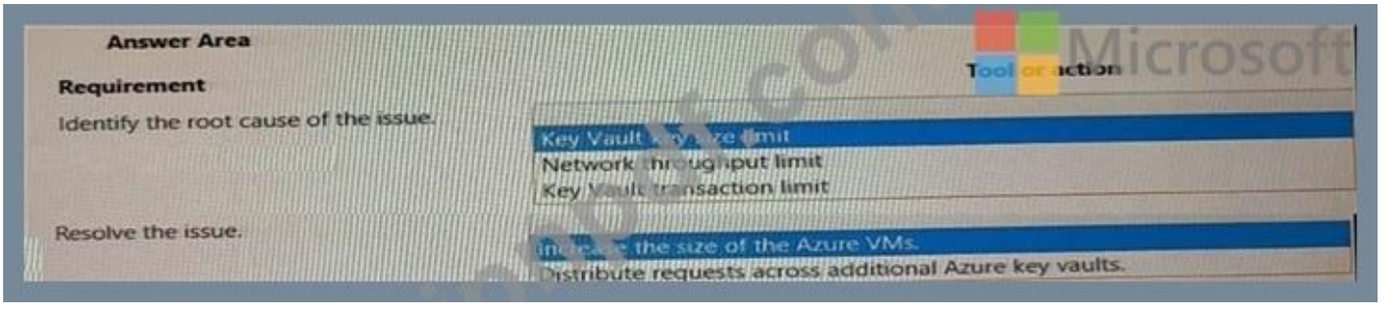


最新問題**: 22**

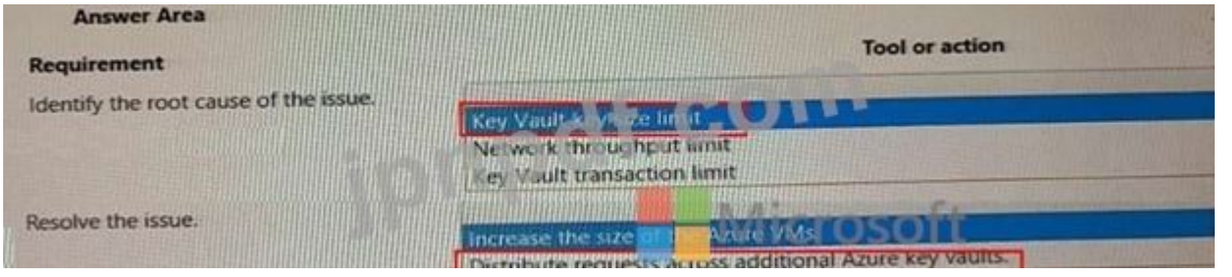
Azure Key Vault の問題をトラブルシューティングする必要があります。

あなたは何をするべきか？回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。



Answer:



最新問題**: 23**

顧客は Azure サブスクリプションを持っています。サーバー用 Microsoft Defender がサブスクリプションに対して有効になっています。顧客はネットワーク セキュリティ グループを構成していません。

顧客は、次のリソースを含む RG1 という名前のリソース グループを構成します。

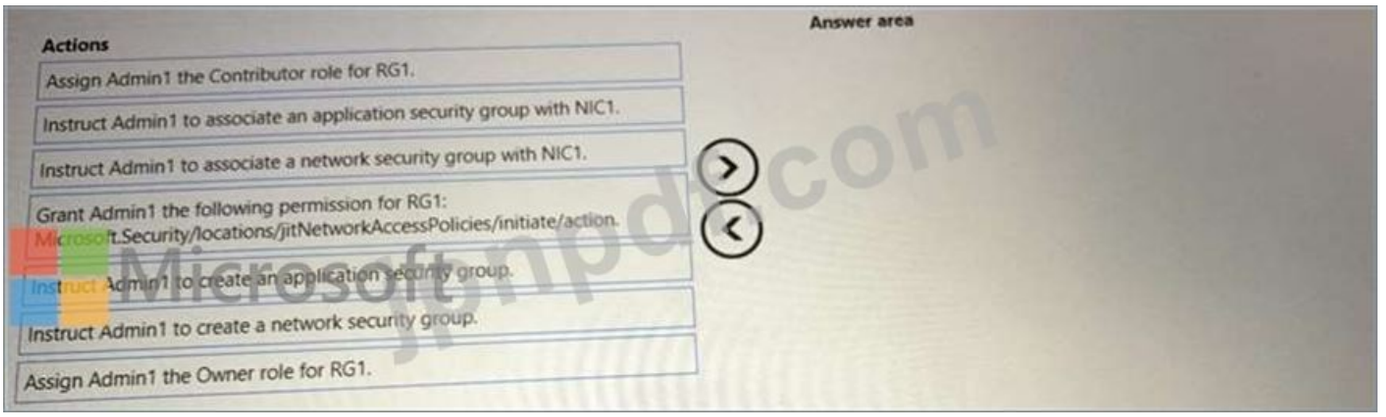
* VM1 という名前の仮想マシン。
* VM1 に接続されている NIC1 という名前のネットワーク インターフェイス。

顧客は、Admin1 という名前のユーザーに RG1 に対する次の権限を付与します: Microsoft.Security/locations/jitNetworkAccessPolicies/write。

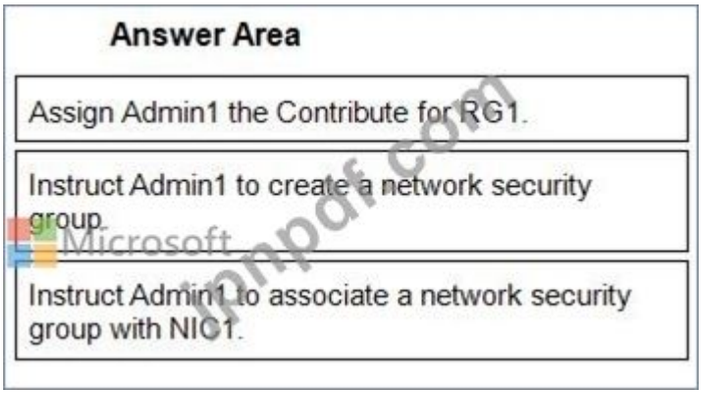
Admin1 は、Azure portal の JIT VM アクセス ウィンドウにエントリが表示されないと報告します。同じペインを表示すると、VM1 が [未サポート] タブに表示されます。

Admin1 が VM1 に対してジャストインタイム (JIT) VM アクセスを有効にできることを確認する必要があります。ソリューションは最小特権の原則に従う必要があります。

順番に実行することをお勧めする 3 つのアクションはどれですか?
回答するには、アクションのリストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。



Answer:



1 - Admin1 に RG1 の貢献者を割り当てます。
2 - Admin1 にネットワーク セキュリティ グループを作成するように指示します。
3 - Admin1 にネットワーク セキュリティ グループを NIC1 に関連付けるように指示します。

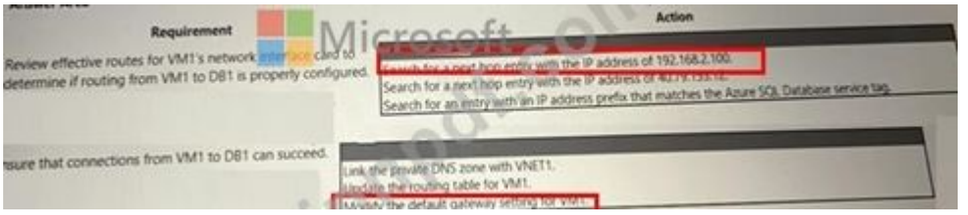
最新問題: **24**
ある会社には Azure Active Directory (Azure AD) テナントがあります。同社は Azure AD Connect を次の場所にデプロイしています。
Active Directory ドメイン サービス (AD DS) からユーザーを同期します。
ユーザー オブジェクトの同期に失敗します。
組み込みの Azure AD Connect トラブルシューティングを使用して、失敗した同期のトラブルシューティングを行う必要があります。
タスク。
トラブルシューティングを開始する前に、どの 2 つの情報を収集する必要がありますか?
A. Azure AD コネクタ名
B. オブジェクトの識別名
C. オブジェクトのグローバルに一意な識別子
D. オブジェクトの共通名
E. AD コネクタ名
Answer: (解答を表示する)

最新問題: **25**
顧客は、米国東部リージョンに RG1 という名前の Azure リソース グループを作成します。RG1 には次のリソースが含まれています。

Resource	Name	Comments
Azure SQL Database logical server	sqlsvr1	The server uses the public IP address 40.79.153.12 and hosts a database named DB1.
Azure Virtual Network	VNET1	The network has the following subnets: subnet1 and subnet2.
Azure virtual machine (VM)	VM1	The VM connects to subnet1 and uses the private IP address 192.168.1.100.

顧客は次のタスクを実行します。
プライベート IP アドレス 192.168.2.100 を使用して、subnet2 に sqlsrv1 のプライベート エンドポイントを作成します。
sqlsvr1 という名前の単一の A レコードと IP アドレス 192.168.2.100 を使用して、privatelink.database.windows.net という名前のプライベート DNS ゾーンを作成します。
sqlsvr1 のパブリック エンドポイントを使用してパブリック アクセスを無効にします。
お客様は、VM1 から DB1 への接続が失敗していると報告しました。このソリューションでは、プラットフォーム レベルの変更を行わずに VM1 から DB1 への接続を許可する必要があります。
トラブルシューティングを行って問題を解決する必要があります。
あなたは何をするべきか？

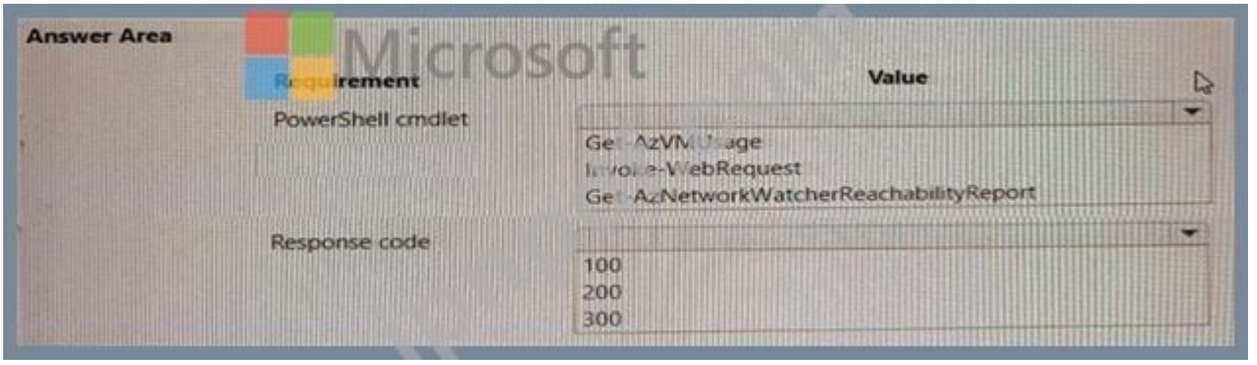
Answer:



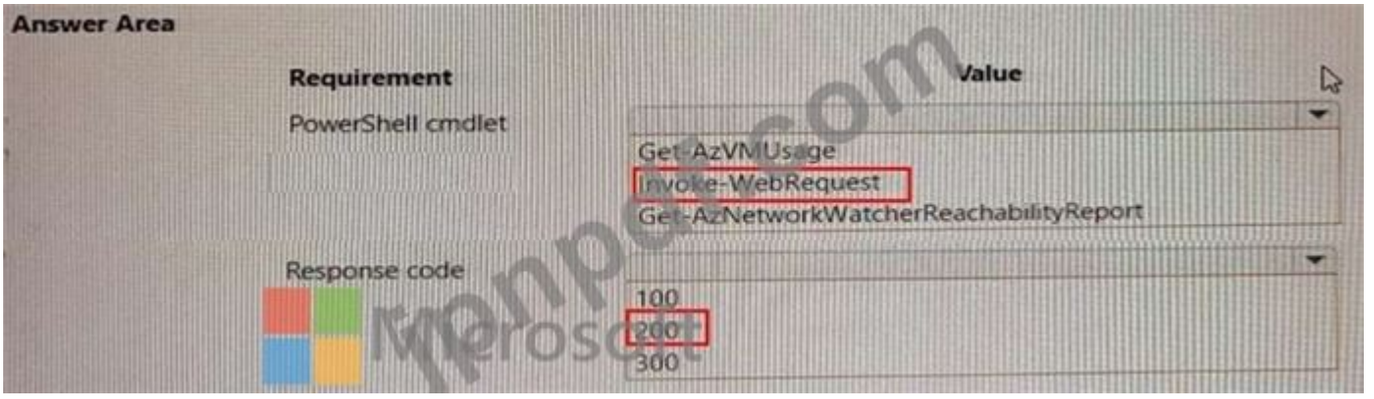
最新問題: **26**
ある企業は、オンプレミスの Windows 仮想マシン (VM) を Azure に移行します。管理者が有効にする
Azure portal を使用して VM をバックアップします。
同社は、Azure VM バックアップ ジョブが失敗していると報告しています。
問題のトラブルシューティングを行う必要があります。
解決策: 現在の VM バックアップ ポリシーの保持範囲を構成します。
解決策は目標を達成できますか?
A. はい
B. いいえ

Answer: A (メーッセージを残す)

最新問題: **27**
5 つのエンドポイントを含む Azure Traffic Manager プロファイルを作成します。各エンドポイントは、Azure 仮想マシン (VM) で実行される Web アプリです。
エンドポイントの 1 つが低下したステータスになっていることがわかります。エンドポイントが有効な状態コードで Traffic Manager 正常性プローブに応答しているかどうかを確認する予定です。
使用する PowerShell コマンドレットと、コマンドレットが返すステータス コードを特定する必要があります。
各要件にはどの値を使用する必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。
注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。



Answer:



最新問題: **28**
会社には Azure テナントがあります。同社は、オンプレミス データセンターから VM1 という名前の Azure 仮想マシンへのアクセスを制御するために、FW1 という名前の Azure ファイア ウォールをデプロイしています。
同社は、オンプレミスのデータセンターから VM1 への ICMP 接続のトラブルシューティングを行っています。オンプレミス サーバーから VM1 に ping を実行できません。
VM1 への ICMP 接続が FW1 で許可されているかどうかを判断する必要があります。
あなたは何をするべきか？

A. VM1 の IP アドレスをターゲットとして ping コマンドを使用し、コマンドの応答を確認します。
B. VM1 の IP アドレスを対象とした ping コマンドを使用し、FW1 のネットワーク ルール ログを確認します。
C. VM1 の完全修飾ドメイン名をターゲットとして ping コマンドを使用し、コマンドの応答を確認します。
D. VM1 の IP アドレスを対象とした ping コマンドを使用し、FW1 のインフラストラクチャ ルール ログを確認します。
Answer: A (メーッセージを残す**)**

最新問題**: 29**
企業は、Web を保護するために Azure Application Gateway Web アプリケーション ファイアウォール (WAF) をデプロイしています。
アプリケーション。
リモート オフィスのユーザーは次の問題を報告します。
※Webアプリケーションの一部にアクセスできません。
※Webアプリケーションの一部が読み込みに失敗します。
* Web アプリケーションの一部に、期待どおりに動作しないアクティビティがあります。
問題のトラブルシューティングを行う必要があります。
どの診断ログを確認する必要がありますか?
A. パフォーマンス
B. Azure アクティビティ
C. ファイアウォール
D. アクセス
Answer: (解答を表示する**)**

最新問題**: 30**
ある企業は、Azure Backup エージェントを使用して、Azure 仮想マシン (VM) およびオンプレミス VM から特定のファイルとフォルダーをバックアップします。
管理者は、両方の VM でバックアップ ジョブが失敗したと報告しました。エラーは Microsoft Azure Recovery Services (MARS) で返されます。
バックアップの問題をトラブルシューティングする必要があります。
どのトラブルシューティング ソリューションを使用する必要がありますか?

Answer:

最新問題: **31**

ある会社には Azure Active Directory (Azure AD) テナントがあります。同社は、Active Directory ドメイン サービス (AD DS) からユーザーを同期するために Azure AD Connect をデプロイしています。

ユーザー オブジェクトの同期に失敗します。

組み込みの Azure AD Connect トラブルシューティング タスクを使用して、失敗した同期のトラブルシューティングを行う必要があります。

トラブルシューティングを開始する前に、どの 2 つの情報を収集する必要がありますか?

A. Azure AD コネクタ名

B. オブジェクトのグローバルに一意な識別子

C. オブジェクトの共通名

D. AD コネクタ名

E. オブジェクトの識別名

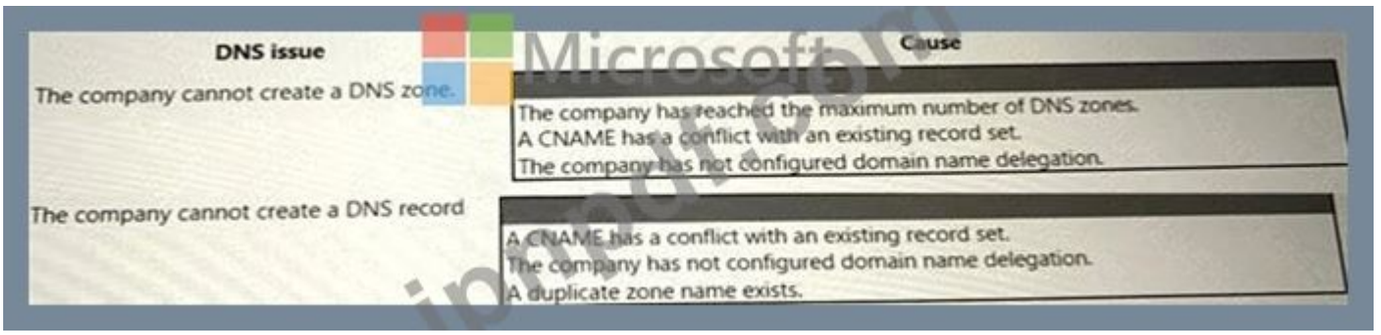
Answer: A,B (メーッセージを残す)

最新問題: **32**

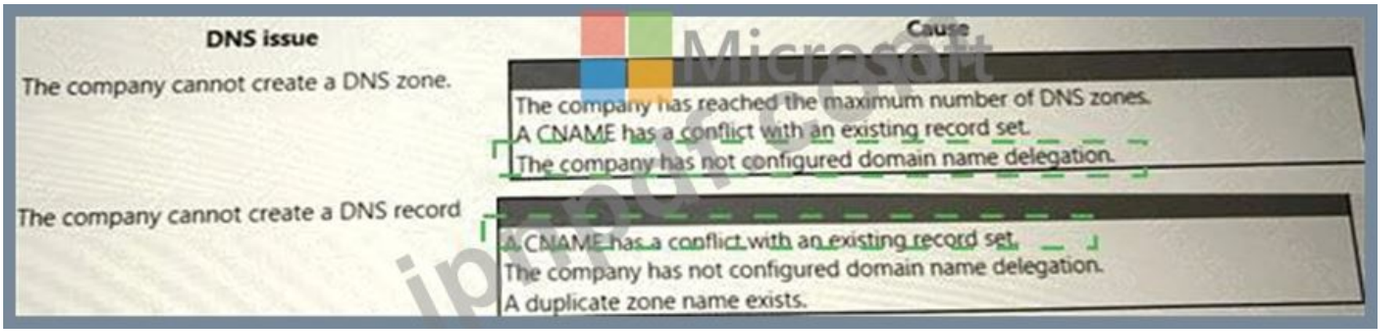
ある企業は、オンプレミスの Windows 仮想マシン (VM) を Azure に移行します。管理者は、Azure portal を使用して VM のバックアップを有効にします。
同社は、Azure VM バックアップ ジョブが失敗していると報告しています。
問題のトラブルシューティングを行う必要があります。
解決策: レプリケーションを有効にし、バックアップコンテナーの復旧計画を作成します。
解決策は目標を達成できますか?
A. はい
B. いいえ
Answer: A (メーッセージを残す**)**

最新問題**: 33**
ある会社には、VNetGW1 という名前の Azure Virtual Network ゲートウェイがあります。同社は、VNetGW1 でのポイント対サイト接続を有効にしています。管理者は、次のように VNetGW1 を構成します。
トンネル タイプの OpenVPN。
認証タイプの Azure 証明書。
VPN クライアントを使用して接続すると、ユーザーは証明書の不一致エラーを受け取ります。
証明書の不一致エラーを解決する必要があります。
あなたは何をするべきか？
A. VPN プロファイルで認証用の事前共有キーを構成します。
B. VNetGW1 で IKEv2 と OpenVPN のトンネル タイプを構成します。
C. プロファイルを手動で作成し、サーバーの FQDN を追加して、クライアント証明書を再発行します。
D. ユーザーのコンピュータにセキュア ソケット トンネリング プロトコル (SSTP) VPN クライアントをインストールします。
Answer: C (メーッセージを残す**)**

最新問題**: 34**
会社はパブリック Azure DNS ゾーンを使用しています。
同社は、DNS レコードの作成と名前解決の問題を報告しています。
問題のトラブルシューティングを行う必要があります。
問題の原因は何ですか?



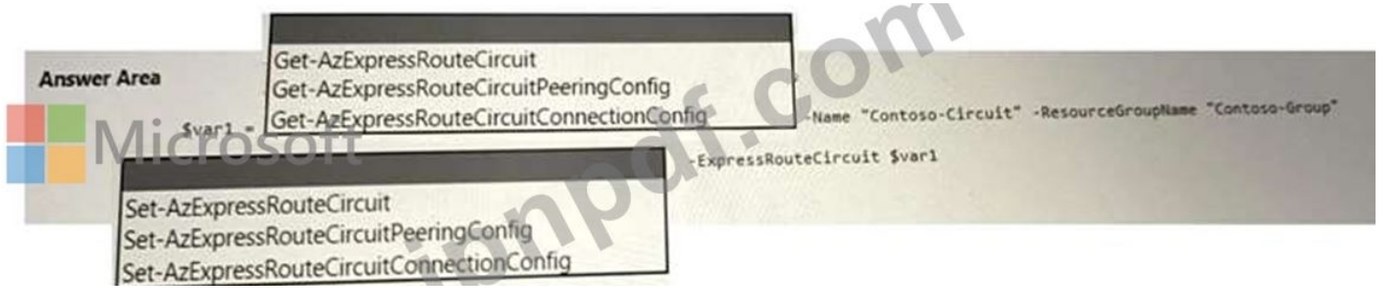
Answer:



最新問題: **35**
ある企業には、証明書ベースの認証を使用する Azure ポイント対サイト仮想プライベート ネットワーク (VPN) があります。
Windows 11 マシンで VPN クライアントを使用して VPN に接続しようとすると、次のエラー メッセージが表示されるとユーザーが報告しています。
証明書が見つかりませんでした
問題を解決する必要があります。
どの 3 つのアクションを実行する必要がありますか?
A. Azure Active Directory (Azure AD) テナントを構成します。
B. ユーザーのデバイスにルート証明書をインストールします。
C. ルート証明書を生成します。
D. VPN ゲートウェイにクライアント証明書をインストールします。
E. ゲートウェイで Azure AD 認証を有効にします
F. クライアント証明書を生成します。
G. ユーザーのデバイスにクライアント証明書をインストールします。
Answer: B,F,G (メーッセージを残す)
証明書ベースの認証を使用する Azure ポイント対サイト VPN に接続しようとすると、ユーザーが 証明書が見つかりませんでした」というエラー メッセージを報告する問題を解決するには、次の 3 つのアクションを実行する必要があります。ユーザーのデバイスにルート証明書をインストールします。F. クライアント証明書を生成します。G. ユーザーのデバイスにクライアント証明書をインストールします。
証明書ベースの認証を使用する Azure ポイント対サイト VPN では、ルート証明書とクライアント証明書の両方がユーザーのデバイスにインストールされている必要があります。ルート証明書は VPN ゲートウェイの ID を検証するために使用され、クライアント証明書はユーザーを認証するために使用されます。これらの証明書のいずれかが見つからないか無効な場合、ユーザーは VPN に接続できず、証明書が見つからなかったことを示すエラー メッセージが表示される場合があります。

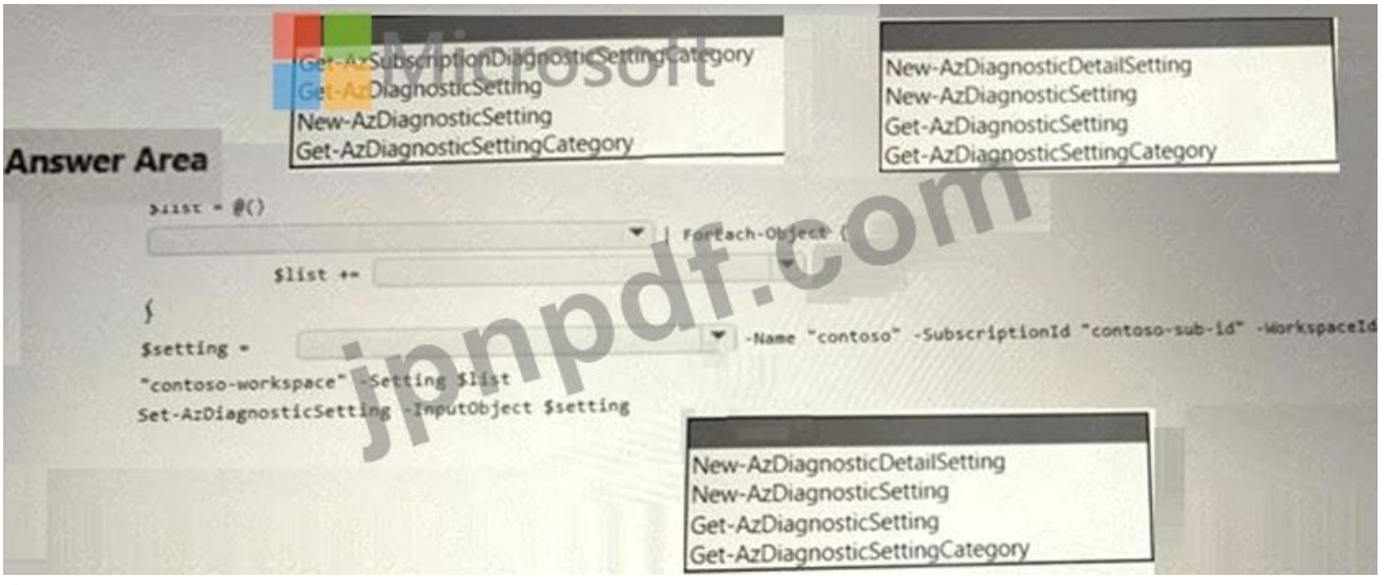
最新問題: **36**
Contoso という名前の会社は、ExpressRoute を使用してオンプレミスのリソースを Azure に接続します。
管理者は、回線が障害状態にあると報告しました。

問題を解決する必要があります。
PowerShell コマンドをどのように完了すればよいでしょうか?



Answer:

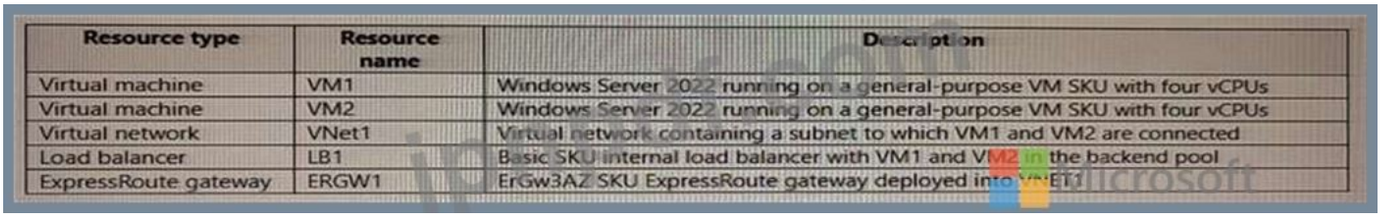
最新問題**: 37**
企業は Azure Firewall を実装し、Azure Firewall ポリシーをデプロイします。
このポリシーには、会社のインフラストラクチャに関する複数のアプリケーションおよびネットワーク ルールが含まれています。導入後は、
オンプレミスのコンピューターからアプリケーションにアクセスできません。
次の設定で診断ログを有効にする必要があります。
* Azureファイアウォールアプリケーションルール
* Azureファイアウォールネットワークルール
* AzureFirewallDnsProxy
PowerShell コマンドレットはどのように完了すればよいですか?



Answer:

最新問題: **38**

次のリソースを含む Azure サブスクリプションを管理します。



Resource type	Resource name	Description
Virtual machine	VM1	Windows Server 2022 running on a general-purpose VM SKU with four vCPUs
Virtual machine	VM2	Windows Server 2022 running on a general-purpose VM SKU with four vCPUs
Virtual network	VNet1	Virtual network containing a subnet to which VM1 and VM2 are connected
Load balancer	LB1	Basic SKU internal load balancer with VM1 and VM2 in the backend pool
ExpressRoute gateway	ERGW1	ErGw3AZ SKU ExpressRoute gateway deployed into VNET1

オンプレミス環境は、ERGW1 を使用して VNet1 に接続されます。

オンプレミス環境は、ERGW1 を使用して VNet1 に接続されます。

管理者は、ロード バランサーのフロントエンド IP アドレスを使用して、VM1 と VM2 をターゲットとするオンプレミス トラフィックのネットワーク遅延を測定します。管理者は ERGW1 で ExpressRoute FastPath を有効にし、待機時間が変化していないことを確認します。

ExpressRoute FastPath によって提供されるネットワーク遅延の改善が有効になるのを妨げている問題を解決する必要があります。

あなたは何をするべきか？

A. ロード バランサーを標準 SKU として再デプロイします。

B. ExpressRoute ゲートウェイの SKU を変更します。

C. VM1 と VM2 のサイズを変更します。

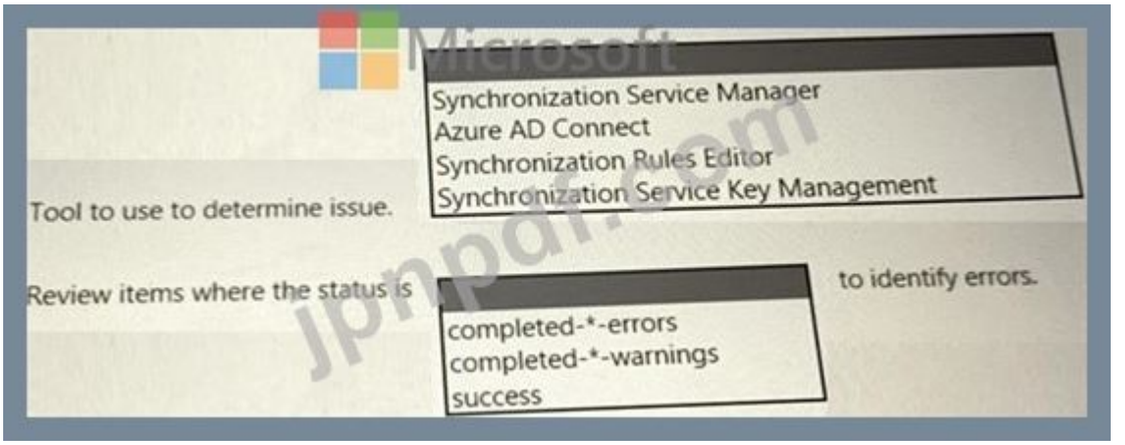
D. VM1 および VM2 で高速ネットワークを有効にします

Answer: (解答を表示する)

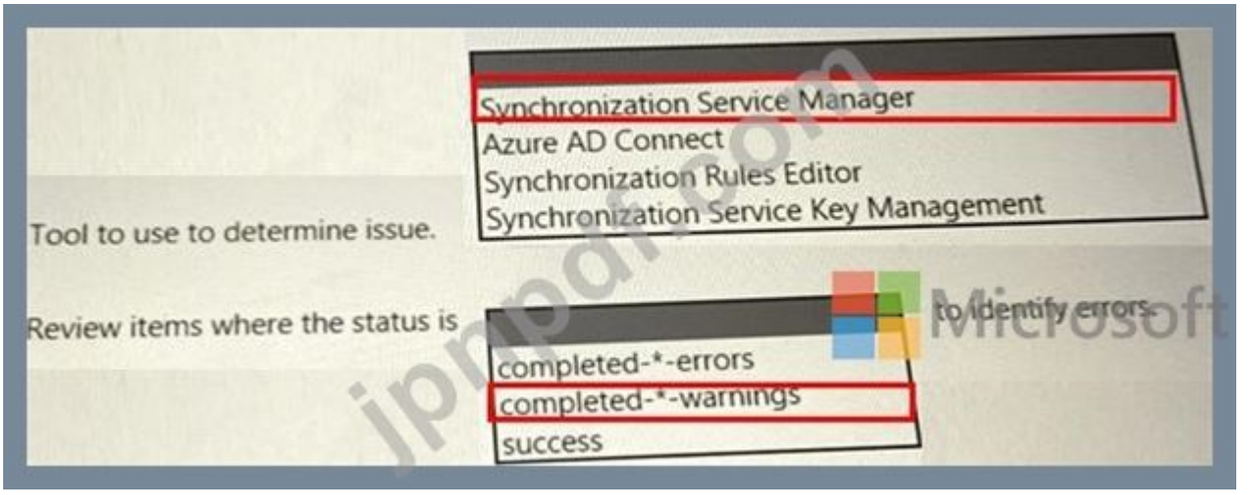
ExpressRoute FastPath によって提供されるネットワーク遅延の改善が有効になるのを妨げている問題を解決するには、ロード バランサーを Standard SKU として再デプロイする必要があります。ExpressRoute FastPath は、Standard Load Balancer SKU でのみサポートされます。したがって、正解は A. ロード バランサーを Standard SKU として再デプロイします。

最新問題: **39**

企業は認証に Azure Active Directory (Azure AD) を使用しています。同社は Azure AD をオンプレミスの Active Directory ドメインと同期しています。
同社は、Azure AD オブジェクトが同期に失敗すると報告しています。
どのオブジェクトが同期していないのかを判断する必要があります。
障害を診断するにはどのトラブルシューティング手順を使用する必要がありますか?



Answer:



最新問題**: 40**
ある企業は、VNetGW1 という名前の Azure Virtual Network (VNet) ゲートウェイを使用しています。VNetGW1 は、動的ルーティングを備えたサイト間 VPN 接続を使用してパートナー サイトに接続します。
同社は、VPN が時々切断されることを観察しています。
切断の原因をトラブルシューティングする必要があります。
何を確認する必要がありますか?
A. パートナーの VPN デバイスと VNetGW1 は、同じ仮想ネットワーク アドレス空間で構成されています。
B. パートナーの VPN デバイスは、Perfect Forward Secrecy に対して有効になっています。
C. ローカル ネットワーク ゲートウェイの IP アドレスがパートナーの VPN デバイスと一致します。
D. パートナーの VPN デバイスと VNetGW1 は、同じ共有キーを使用して構成されています。
Answer: (解答を表示する**)**

最新問題: **41**
ある企業は、オンプレミスの Windows 仮想マシン (VM) を Azure に移行します。管理者は、Azure portal を使用して VM のバックアップを有効にします。
同社は、Azure VM バックアップ ジョブが失敗していると報告しています。
問題のトラブルシューティングを行う必要があります。
解決策: 管理権限を使用して VM ゲスト エージェントをインストールします。
解決策は目標を達成できますか?
A. いいえ
B. はい
Answer: A (メーッセージを残す**)**

最新問題: **42**
ある企業は、VNetGW1 という名前の Azure Virtual Network (VNet) ゲートウェイを使用しています。VNetGW1 は、動的ルーティングを備えたサイト間 VPN 接続を使用してパートナー サイトに接続します。
同社は、VPN が時々切断されることを観察しています。
切断の原因をトラブルシューティングする必要があります。
何を確認する必要がありますか?
A. パートナーの VPN デバイスと VNetGW1 は、同じ仮想ネットワーク アドレス空間で構成されています。
B. ローカル ネットワーク ゲートウェイの IP アドレスがパートナーの VPN デバイスと一致します。
C. パートナーの VPN デバイスと VNetGW1 は、同じ共有キーを使用して構成されています。
D. パートナーの VPN デバイスは、Perfect Forward Secrecy に対して有効になっています。
Answer: (解答を表示する**)**

最新問題: **43**
ある会社が ExpressRoute 回線を展開しています。
ExpressRoute 回線から受け入れられたピアリング ルートを確認する必要があります。
どの PowerShell コマンドレットを実行する必要がありますか?
A. Get-AzExpressRouteCircuitRouteTable
B. Get-AzExpressRouteCircuitStats
C. Get-AzExpressRouteCircuit
D. Get-AzExpressRouteCircuitPeeringConfig
E. Get-AzExpressRouteCrossConnectionPeering
Answer: E (メーッセージを残す**)**

最新問題: **44**
会社は次の Azure リージョンに仮想マシン (VM) を持っています。

米国中西部
オーストラリア東部
同社は ExpressRoute プライベート ピアリングを使用して、各リージョンおよびオンプレミス サービスでホストされている VM への接続を提供しています。
同社は、各リージョンの VNet 間にグローバル VNet ピアリングを実装しています。VNet ピアリングを構成した後、VM トラフィックは ExpressRoute プライベート ピアリングの使用を試みます。
トラフィックが ExpressRoute プライベート ピアリングではなくグローバル VNet ピアリングを使用していることを確認する必要があります。ソリューションでは、Azure VNet への既存のオンプレミス接続を維持する必要があります。
あなたは何をするべきか？
A. ユーザー定義ルートをサブネット ルート テーブルに追加します。
B. オンプレミス ルーターにフィルターを追加します。
C. 2 番目の VNet を仮想マシンに追加し、VNet 間に VNet ピアリングを構成します。
D. いずれかのリージョンの ExpressRoute ピアリング接続を無効にします。
Answer: (解答を表示する**)**
トラフィックで ExpressRoute プライベート ピアリングではなくグローバル VNet ピアリングが使用されるようにするには、ユーザー定義のルートをサブネット ルート テーブルに追加する必要があります。2 によると、グローバル VNet ピアリングにより、リージョンをまたがる仮想ネットワークは、あたかも同じリージョン内にあるかのように、プライベート IP アドレスを使用して通信できます。ただし、グローバル VNet ピアリングも有効になっている 2 つのリージョン間に既存の ExpressRoute プライベート ピアリングが存在する場合、既定では、トラフィックはグローバル VNet ピアリングよりも ExpressRoute を優先します。この動作をオーバーライドし、特定のサブネットまたは仮想ネットワーク ゲートウェイ接続に対して ExpressRoute プライベート ピアリングではなくグローバル VNet ピアリングをトラフィックに強制的に使用させるには、仮想ネットワーク ピアリングのネクスト ホップ タイプを使用してユーザー定義のルートを追加する必要があります。

最新問題**: 45**
ある会社には Azure Active Directory (Azure AD) テナントがあります。同社は Azure AD Connect を次の場所にデプロイしています。
Active Directory ドメイン サービス (AD DS) ドメインからオブジェクトを同期します。
AD DS オブジェクトが Azure AD に同期していないことがわかります。
ステージング モードが有効になっていることを確認する必要があります。
あなたは何をするべきか？
A. Azure AD Connect 同期のスケジュールされたタスクの履歴を確認します。
B. Azure AD Connect 同期のスケジュールされたタスクのトリガーを確認します。
C. 次の PowerShell コマンドレットを実行します: Get-ADSyncConnetorRunStatus
D. 次の PowerShell コマンドレットを実行します: Get-ADSyncScheduler
Answer: D (メーッセージを残す**)**

最新問題: **46**
ある企業は、Web アプリケーションを保護するために Azure Application Gateway Web アプリケーション ファイアウォール (WAF) をデプロイしています。
リモート オフィスのユーザーは次の問題を報告します。
Web アプリケーションの一部にアクセスできません。
Web アプリケーションの一部がロードできません。
Web アプリケーションの一部に、期待どおりに動作しないアクティビティがあります。
問題のトラブルシューティングを行う必要があります。
どの診断ログを確認する必要がありますか?
A. パフォーマンス
B. ファイアウォール
C. アクセス
D. Azure アクティビティ
Answer: B (メーッセージを残す**)**
問題のトラブルシューティングを行うには、ファイアウォールの診断ログを確認する必要があります。2 によると、Azure Application Gateway Web アプリケーション ファイアウォール (WAF) は、WAF で構成されたアプリケーション ゲートウェイの検出モードまたは防止モードを通じて記録された要求をログに記録します。このログを使用して、ブロックされたリクエストを表示および分析し、誤検知または誤検知を特定できます。

最新問題: **47**
企業は、Azure VPN Gateway を使用してオンプレミス ネットワークに接続します。オンプレミス環境
には、ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) を使用してゲートウェイに個別にトンネリングする 3 つの VPN デバイスが含まれています。
新しいサブネットはオンプレミス ネットワークから到達できないようにする必要があります。
解決策を実装する必要があります。
解決策: 仮想ネットワーク上のピアリングを無効にします。
解決策は目標を達成できますか?
A. はい
B. いいえ

Answer: B (メーッセージを残す)

最新問題**: 48**
ある企業は、Azure App Service ソリューション用に Azure Traffic Manager 負荷分散をデプロイしています。
デプロイ後に負荷分散のパフォーマンスが低下した状態を示しており、新しい HTTPS プローブが Traffic Manager エンドポイントに到達できません。
プローブの障害をトラブルシューティングする必要があります。
PowerShell スクリプトをどのように完成させるべきでしょうか?
Answer Area

Answer:

最新問題: **49**

企業は、ExpressRoute を使用してオンプレミス ネットワークを Azure 仮想ネットワークに接続します。

ExpressRoute 接続で、通常よりも長い遅延が発生しています。

トラフィックの流れを確認する必要があります。

PowerShell コマンドをどのように完了すればよいでしょうか?

Answer:

最新問題: **50**

ある企業は、オンプレミスの Windows 仮想マシン (VM) を Azure に移行します。管理者は、Azure portal を使用して VM のバックアップを有効にします。

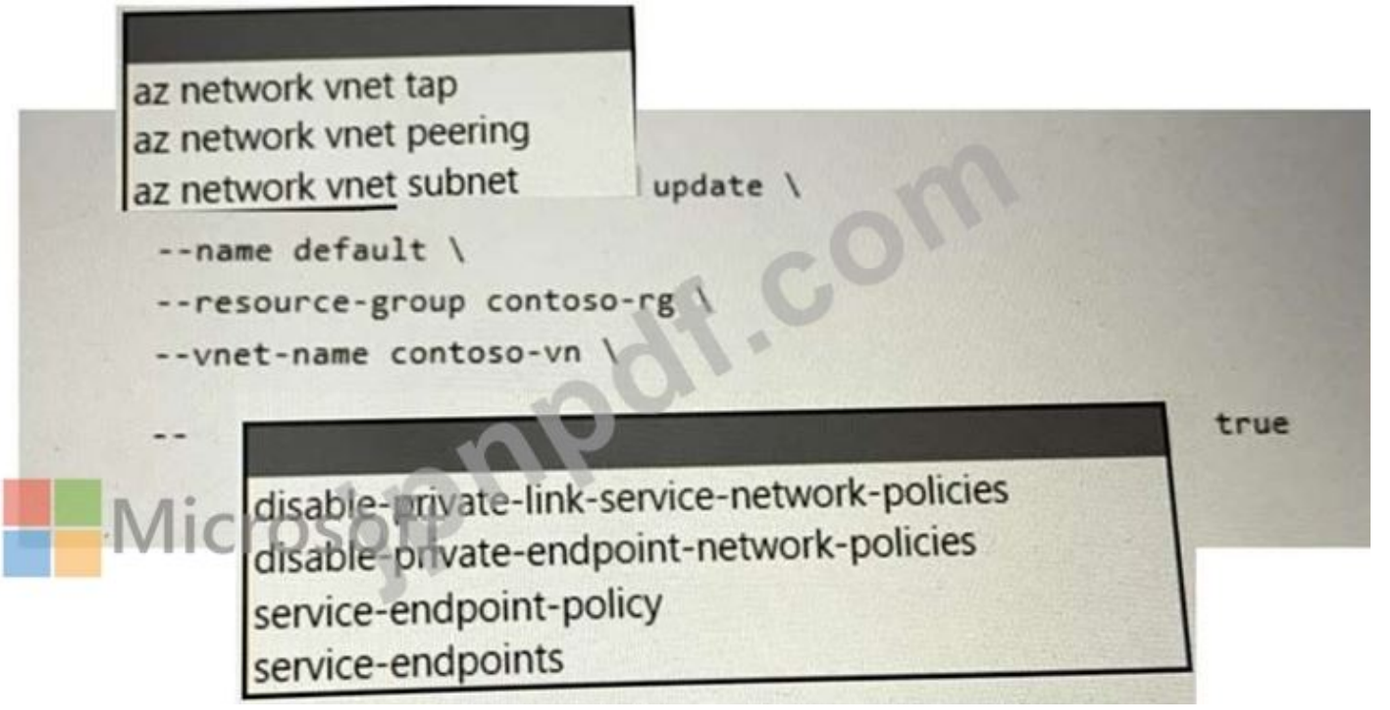
同社は、Azure VM バックアップ ジョブが失敗していると報告しています。

問題のトラブルシューティングを行う必要があります。
解決策: 現在の VM バックアップ ポリシーの保持範囲を構成します。
解決策は目標を達成できますか?
A. はい
B. いいえ
Answer: A (メーッセージを残す**)**

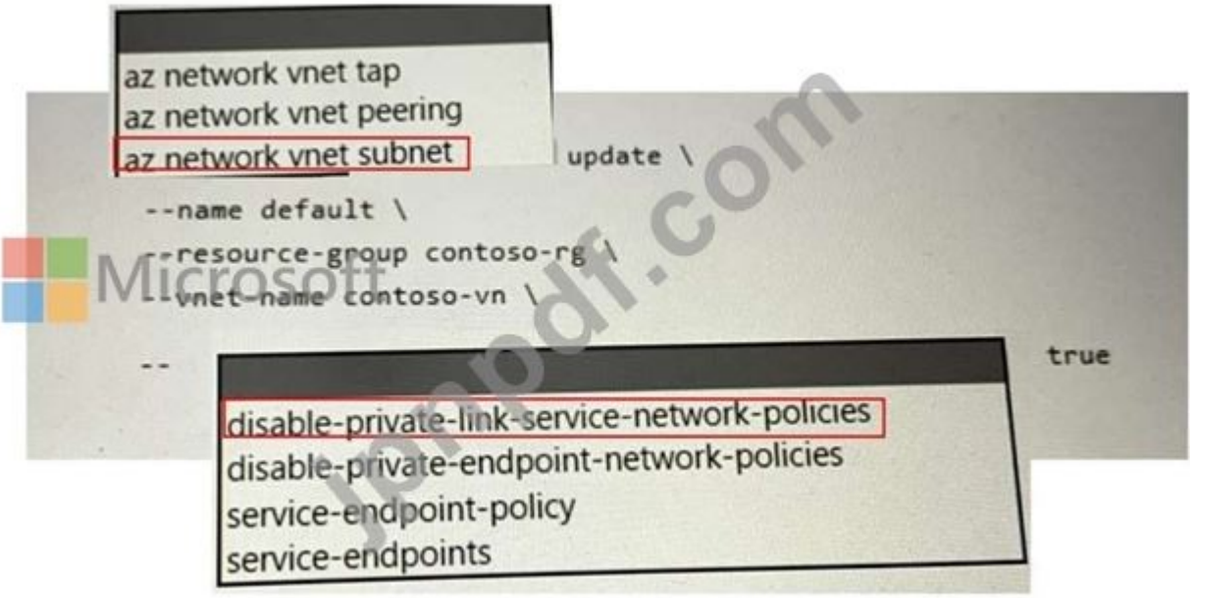
最新問題**: 51**
ある企業では、リソースへのアクセスに Azure Active Directory (Azure AD) と Azure ロールベースのアクセス制御 (RBAC) を使用しています。
一部のユーザーは、他のユーザーに RBAC ロールを付与できないと報告しています。
問題のトラブルシューティングを行う必要があります。
Azure Monitor クエリはどのように完了すればよいですか?

Answer:

最新問題**: 52**
Contoso という名前の会社は、Azure Private Link を使用して Azure PaaS サービスに接続します。この会社には、contoso-rg という名前のリソース グループに contoso-vn という名前の仮想ネットワークがあります。
エンジニアは、Azure CLI を使用して Private Link サービスを変更します。デフォルトという名前のサブネットからの送信元 IP アドレスを使用することはできません。
問題を解決する必要があります。
コマンドをどのように完了すればよいでしょうか?



Answer:



最新問題: **53**

ある会社には、VNetGW1 という名前の Azure Virtual Network ゲートウェイがあります。同社は、VNetGW1 でのポイント対サイト接続を有効にしています。管理者は、次のように VNetGW1 を構成します。

トンネル タイプの OpenVPN。

認証タイプの Azure 証明書。

VPN クライアントを使用して接続すると、ユーザーは証明書の不一致エラーを受け取ります。

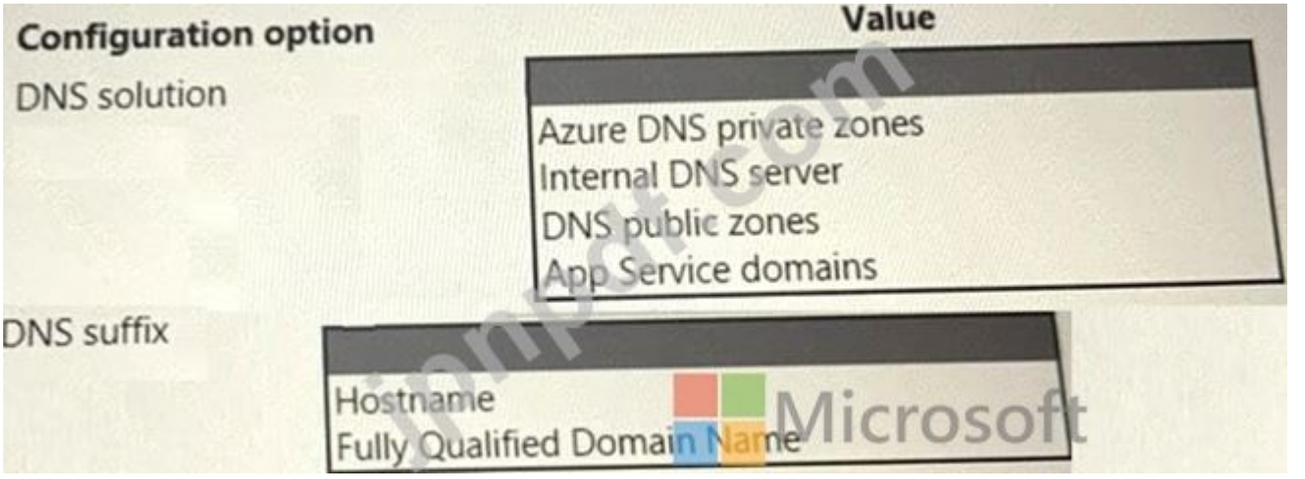
証明書の不一致エラーを解決する必要があります。

あなたは何をするべきか？

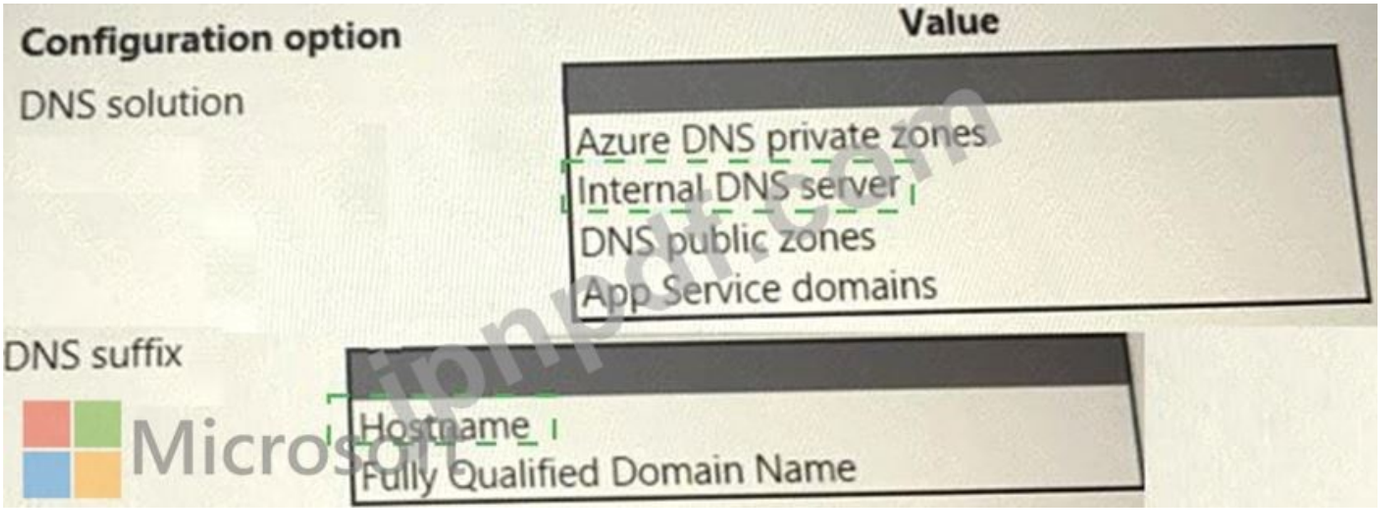
A. プロファイルを手動で作成し、サーバーの FQDN を追加して、クライアント証明書を再発行します。
B. クライアント認証を有効にしてクライアント証明書を再発行します。
C. ユーザーのコンピュータに IKEv2 VPN クライアントをインストールします。
D. VNetGW1 で IKEv2 と OpenVPN のトンネル タイプを構成します。
Answer: D (メーッセージを残す)

最新問題**: 54**
企業は、Azure VPN Gateway を使用してオンプレミス ネットワークに接続します。オンプレミス環境には、ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) を使用してゲートウェイに個別にトンネリングする 3 つの VPN デバイスが含まれています。
新しいサブネットはオンプレミス ネットワークから到達できないようにする必要があります。
解決策を実装する必要があります。
解決策: ルート伝播を無効にしてルート テーブルを設定します。
解決策は目標を達成できますか?
A. はい
B. いいえ
Answer: B (メーッセージを残す)
ルート伝播を無効にしてルート テーブルを構成する提案されたソリューションは、オンプレミス ネットワークから新しいサブネットに到達できないようにするという目標を達成できません。
Azure のルート テーブルは、仮想ネットワーク内および仮想ネットワーク間のトラフィック フローを制御するために使用されます。既定では、Azure 仮想ネットワーク内の各サブネットは、システムで生成されたルート テーブルに関連付けられます。このルート テーブルには、仮想ネットワーク内のすべてのサブネットとの間でトラフィックをやり取りできるようにする既定のルートが含まれています。
カスタム ルート テーブルでルートの伝播を無効にすると、新しいルートが関連付けられたサブネットに伝播されなくなります。ただし、仮想ネットワークとオンプレミス ネットワーク間のトラフィックは引き続きシステム生成のルート テーブル内の既定のルートを使用するため、オンプレミス ネットワークからのトラフィックが新しいサブネットに到達することは妨げられません。
オンプレミス ネットワークから新しいサブネットに到達できないようにするという目標を達成するには、新しいサブネット宛てのトラフィックを null インターフェイスに送信するルートを含む新しいルート テーブルを作成する必要があります。これにより、トラフィックがドロップされ、オンプレミス ネットワークからサブネットに事実上到達できなくなります。
参照：
カスタム ルート テーブルを作成してサブネットに関連付ける方法に関する Microsoft ドキュメント: https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-network/manage-route-table#create-a-custom-route -テーブル。
null インターフェイスへのルートを構成する方法に関する Microsoft ドキュメント: https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-network/tutorial-create-route-table-portal#to-route-to-a -nullインターフェイス。

最新問題: **55**
ある企業には、1 つの仮想ネットワークを使用する Azure 環境があります。
同社は、2 つの異なる仮想ネットワークを使用するように環境を再構築しました。仮想マシンを 1 つに統合
ネットワークは他の仮想ネットワーク内の仮想マシンと通信できません。
2 つのネットワーク内の仮想マシン間の接続を再確立する必要があります。
ネットワークをどのように構成すればよいでしょうか?

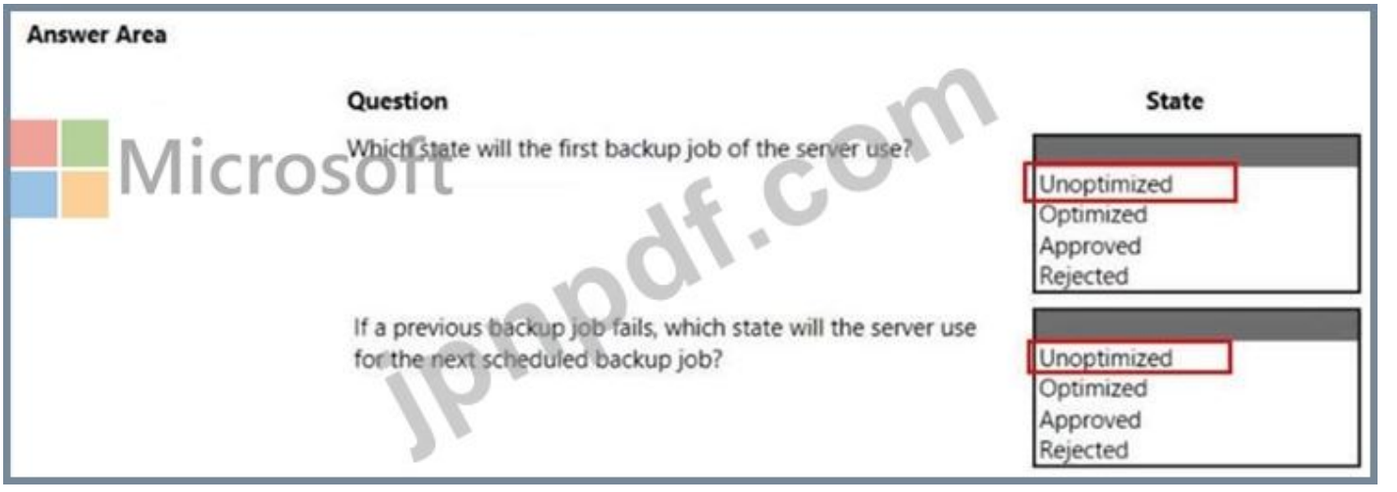


Answer:



最新問題: **56**
ある企業は、Azure Backup エージェントを使用して、オンプレミスの仮想マシン (VM) から特定のファイルとフォルダーをバックアップします。
管理者は、バックアップ ジョブのファイル転送が遅いと報告しました。バックアップ ジョブがボリューム全体をスキャンしてディレクトリ内の変更を検証していると判断します。
バックアップ ジョブの状態を確認する必要があります。
バックアップはどの状態で行われますか?

Answer:



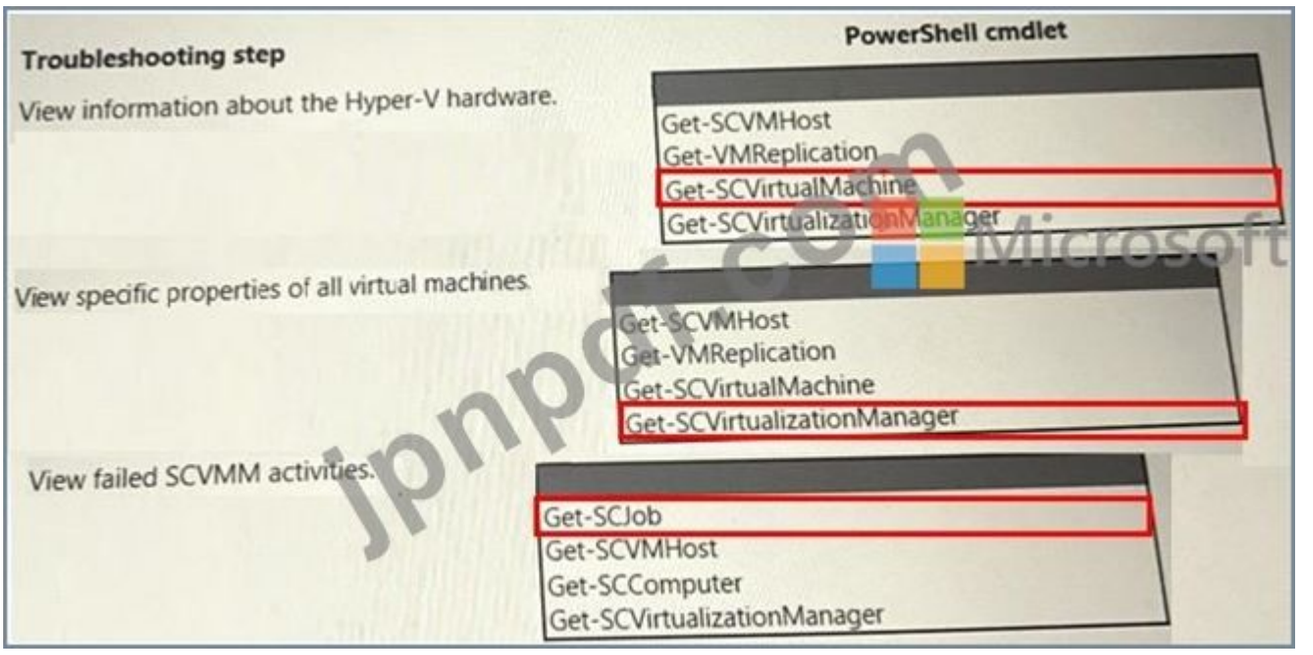
最新問題**: 57**

ある企業は、オンプレミスの Hyper-V サーバーに Azure Site Recovery を使用しています。同社は、System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) を使用してサーバーを管理しています。

管理者は、セカンダリ サイトへのレプリケーションが失敗したと報告しました。

SCVMM ログと構成ファイルを検査する必要があります。

Answer:



最新問題: **58**

ある企業は、Azure Site Recovery (ASR) を使用して、Azure リージョン間で Azure 仮想マシン (VM) をレプリケートおよび回復します。

管理者は、P10 ディスクを使用する VM に関して ASR から次の警告を受け取ります。サポートされている制限を超えたデータ変更率 OS ディスク書き込みバイト/秒とデータ ディスク書き込みバイト/秒を監視対象のメトリックのリストに追加します。VM のデータ チャーンが常に 8 MB/秒を超え、10 MB/秒未満であることがわかります。

問題を解決する必要があります。

あなたは何をするべきか？

A. 仮想ネットワークにネットワーク サービス エンドポイントを作成します。

B. ターゲット ストレージ ディスクをアップグレードします。

C. AzCopy を使用してデータをキャッシュ ストレージ アカウントにアップロードします。

D. ボリューム シャドウ コピー サービス (VSS) プロバイダー サービスをアンインストールします。

Answer: B (メーッセージを残す**)**

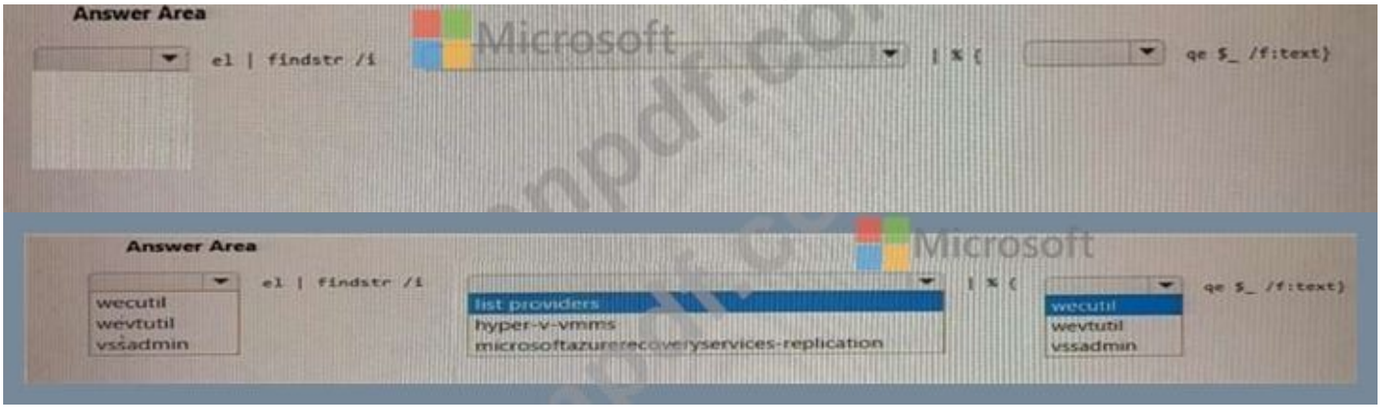
Azure Site Recovery には、レプリケーションに使用されるディスクの種類に応じてデータ変更率の制限があります。VM のデータ変更率がそのディスク タイプでサポートされている制限を超えている場合、レプリケーションの問題やエラーが発生する可能性があります。この問題を解決するには、ターゲット ストレージ ディスクを、より高いデータ変更率をサポートする上位層にアップグレードします。

最新問題: **59**

ある会社には Azure Active Directory (Azure AD) テナントがあります。同社は、Azure Active Directory Domain Services (Azure AD DS) インスタンスをプロビジョニングしています。

ユーザーは、Azure AD からプロビジョニングされた後、Azure AD DS にサインインできないと報告しています。ユーザー アカウントが Azure AD DS に存在することを確認します。
問題を解決する必要があります。
あなたは何をするべきか？
A. AzureActiveDirectoryDomainControllerServices という名前の Azure アプリケーションを削除し、Azure AD DS を再度有効にします。
B. Azure AD Connect をデプロイします。
C. Azure AD Domain Services Sync という名前の Azure アプリケーションを削除し、Azure AD DS を再度有効にします。
D. Azure AD でパスワードを変更するようにユーザーに指示します。
Answer: (解答を表示する**)**
Azure AD は、テナントに対して Azure AD DS を有効にするまで、NTLM または Kerberos 認証に必要な形式でパスワード ハッシュを生成または保存しません。したがって、Azure AD は、ユーザーの既存の資格情報に基づいて、これらの NTLM または Kerberos パスワード ハッシュを自動的に生成できません。
オンプレミス同期がないクラウドのみの環境の場合は、Azure AD DS を有効にした後に Azure AD でパスワードを変更するようにユーザーに指示する必要があります。これにより、必要なパスワード ハッシュが生成され、20 分以内に Azure AD DS に同期されます。

最新問題: **60**
ある企業は、オンプレミス サーバーに Azure Site Recovery を使用しています。
同社は、Azure へのサーバーのレプリケーションが失敗したと報告しています。
問題のトラブルシューティングを行うには、サーバー上のログを検査する必要があります。
コマンドをどのように完了すればよいでしょうか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。
注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。



Answer:

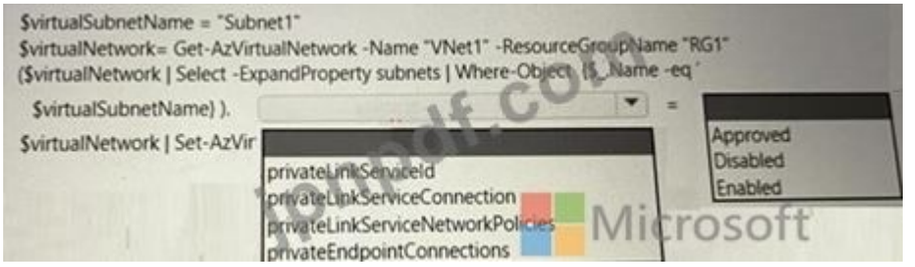
最新問題: **61**
ある企業は Azure AD Connect を使用しています。同社はセルフサービスパスワードリセット（$SPR）を導入する予定だ。
管理者は、Azure AD Connect の構成中にパスワード ライトバックを有効にできなかったというエラーを受け取ります。管理者は次のイベント ログ エラーを確認しました。
認証トークンの取得エラー
問題を解決する必要があります。
あなたは何をするべきか？
A. Azure AD Connect サービスを再起動します。
B. フェデレーションされていないグローバル管理者アカウントを使用して Azure AD Connect を構成します。
C. 256 文字未満のパスワードを持つグローバル管理者アカウントを使用して Azure AD Connect を構成します。
D. パスワード ライトバックを無効にしてから、Azure AD Connect 構成を使用してパスワード ライトバックを有効にします。
Answer: A (メーッセージを残す**)**
Azure AD Connect のインストール プロセスの最初に指定したグローバル管理者アカウントに間違ったパスワードを指定すると、 認証トークンの取得エラー」というエラー メッセージが表示されます。この問題を解決するには、グローバル管理者アカウントに正しいパスワードを指定していることを確認する必要があります。管理者アカウント。間違ったパスワードを指定した場合は、パスワードを更新してから Azure AD Connect サービスを再起動してください。

最新問題: **62**
ある会社には、VNetGW1 という名前の Azure Virtual Network ゲートウェイがあります。同社はポイントツーサイトを可能にします
VNetGW1 上の接続。管理者は、次のように VNetGW1 を構成します。
* トンネル タイプの OpenVPN。
* 認証タイプの Azure 証明書。
VPN クライアントを使用して接続すると、ユーザーは証明書の不一致エラーを受け取ります。
証明書の不一致エラーを解決する必要があります。
あなたは何をするべきか？

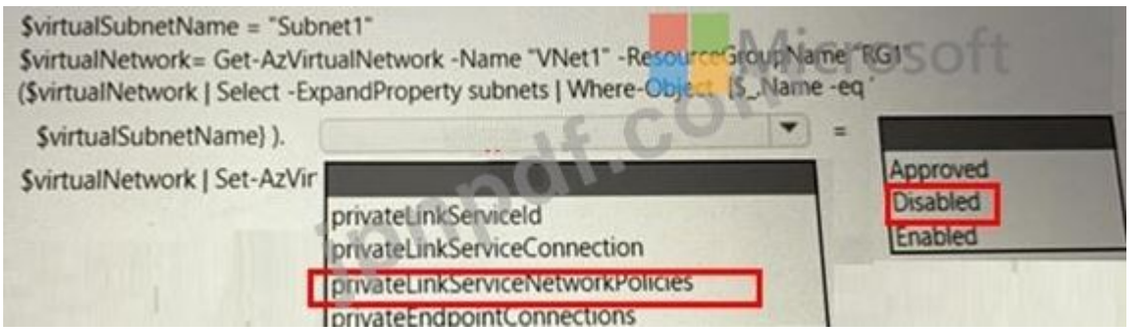
A. プロファイルを手動で作成し、サーバーの FQDN を追加して、クライアント証明書を再発行します。
B. VNetGW1 で IKEv2 および OpenVPN のトンネル タイプを構成します。
C. ユーザーのコンピュータにセキュア ソケット トンネリング プロトコル (SSTP) VPN クライアントをインストールします。
D. VPN プロファイルでの認証用の事前共有キーを構成します。
Answer: (解答を表示する**)**

最新問題**: 63**
ある企業は、Azure でジャストインタイム (JIT) 仮想マシン (VM) アクセスを有効にしています。
管理者は、Microsoft の JIT VM アクセス ページの [サポートされていない] タブで VM のリストを確認します。
Defender for Cloud ポータル。
一部の VM が JIT VM アクセスでサポートされていない理由を特定する必要があります。
どう結論づけるべきでしょうか?
A. ネットワーク セキュリティ グループは VM に関連付けられていません。
B. 管理者には SecurityReader ロールがありません。
C. 管理者は Microsoft Defender for Cloud の無料枠を使用しています。
D. クライアント ファイアウォールは VM 上のポート 22 を許可しません。
Answer: D (メーッセージを残す**)**

最新問題**: 64**
ある会社が Azure Cosmos DB ソリューションを開発しています。
ソリューションには次のコンポーネントが含まれます。
RG1 という名前のリソース グループ内の VNet1 という名前の仮想ネットワーク。
VNet1 の Subnet1 という名前のサブネット。
プライベート リンク サービス。
会社は、Subnet1 から Private Link サービスの送信元 IP アドレスを構成できません。
Subnet1 の問題を解決する必要があります。
PowerShell コマンドをどのように完了すればよいでしょうか?



Answer:

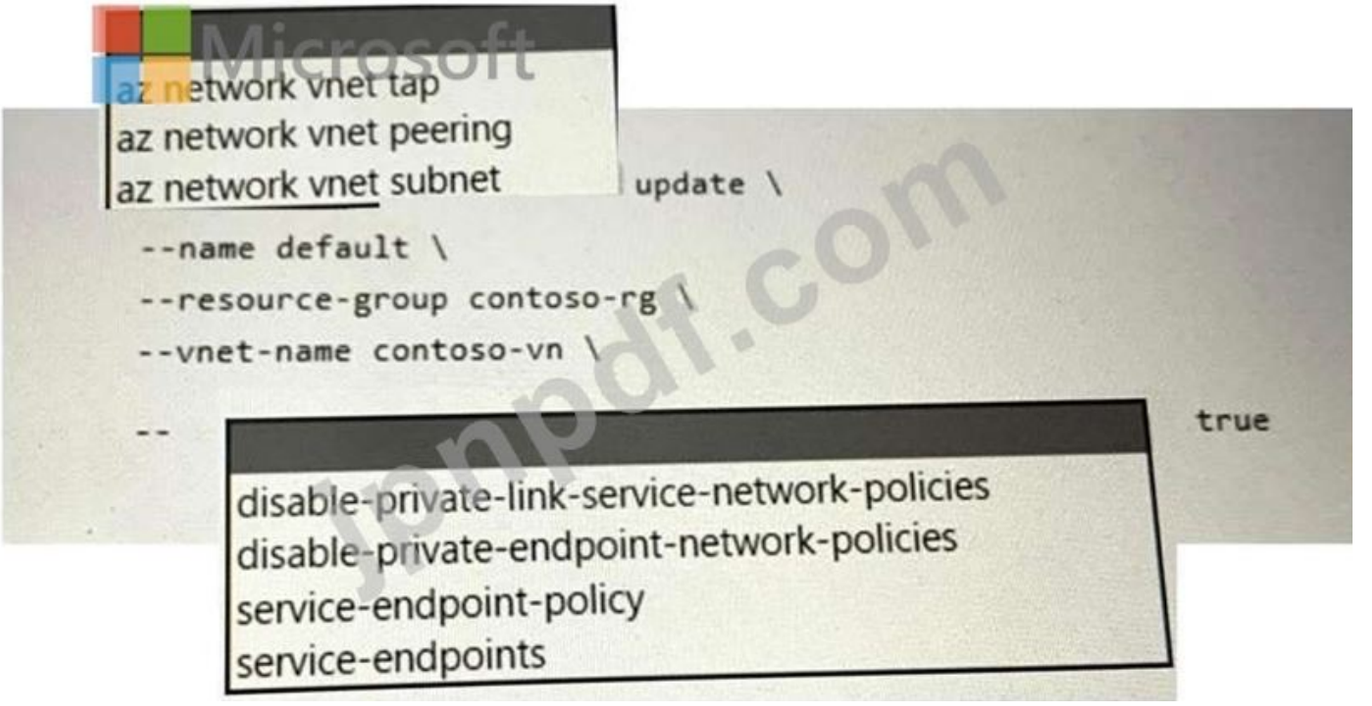


最新問題: **65**
ある企業には、証明書ベースの認証を使用する Azure ポイント対サイト仮想プライベート ネットワーク (VPN) があります。
VPN クライアントを使用して VPN に接続しようとすると、次のエラー メッセージが表示されるとユーザーが報告しています。
Windows 11 マシン:
証明書が見つかりませんでした
問題を解決する必要があります。
どの 3 つのアクションを実行する必要がありますか?
A. Azure Active Directory (Azure AD) テナントを構成します。
B. ユーザーのデバイスにクライアント証明書をインストールします。
C. クライアント証明書を生成します。
D. ユーザーのデバイスにルート証明書をインストールします。
E. VPN ゲートウェイにクライアント証明書をインストールします。
F. ゲートウェイで Azure AD 認証を有効にします
G. ルート証明書を生成します。
Answer: A,F,G (メーッセージを残す**)**

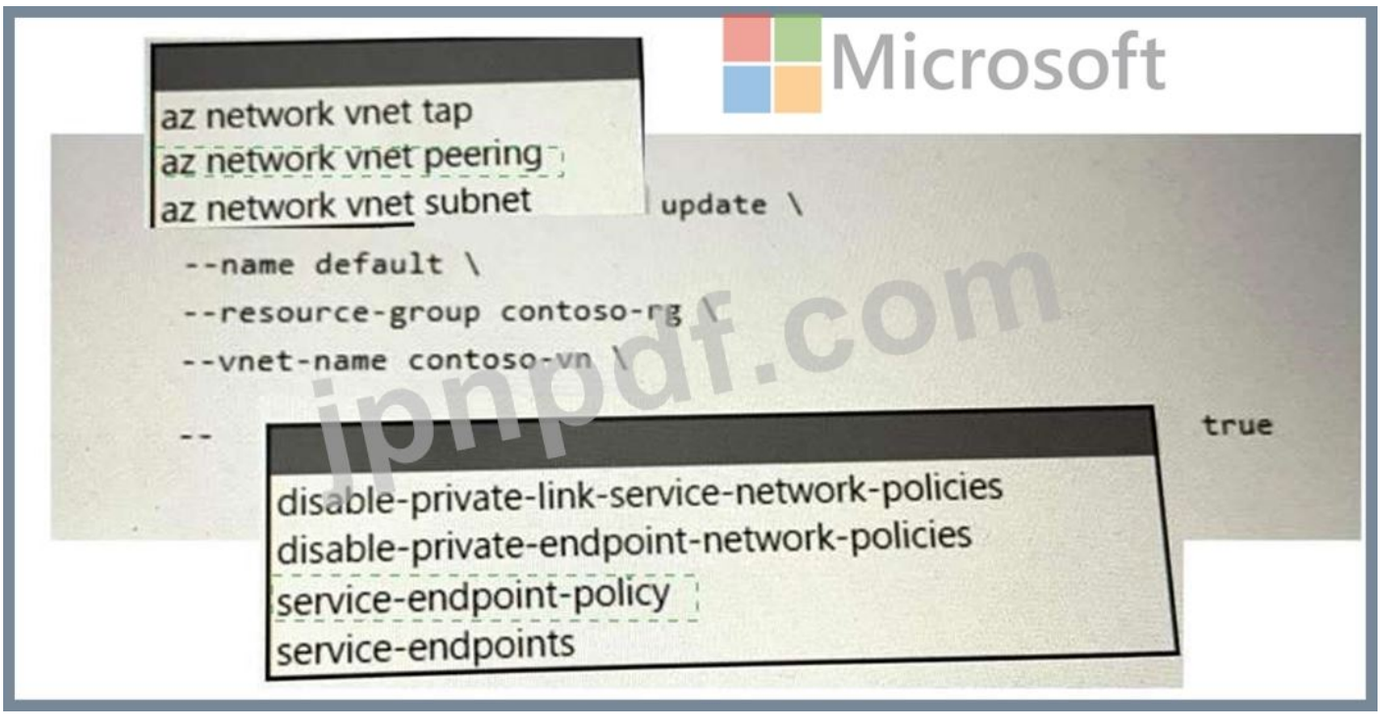
最新問題: **66**
ある企業は、オンプレミスの Windows 仮想マシン (VM) を Azure に移行します。管理者は、Azure portal を使用して VM のバックアップを有効にします。
同社は、Azure VM バックアップ ジョブが失敗していると報告しています。
問題のトラブルシューティングを行う必要があります。
解決策: バックアップ センターで新しい手動バックアップを作成します。
解決策は目標を達成できますか?
A. はい
B. いいえ
Answer: B (メーッセージを残す**)**
バックアップ センターで新しい手動バックアップを作成しても、Azure portal 経由で VM のバックアップを有効にした後に Azure VM バックアップ ジョブが失敗する問題が解決するとは考えられません。この問題をトラブルシューティングするには、管理者はまず Azure VM バックアップ

ジョブ ログを確認し、提供された特定のエラー メッセージまたはコードを特定する必要があります。これは、根本的な問題と適切な解決策を特定するのに役立ちます。
したがって、質問に記載されている解決策は不正確であり、答えは B です。いいえ。
参照：
Azure VM バックアップの失敗のトラブルシューティング (Microsoft ドキュメント)

最新問題: **67**
Contoso という名前の会社は、Azure Private Link を使用して Azure PaaS サービスに接続します。会社には
contoso-rg という名前のリソース グループ内の contoso-vn という名前の仮想ネットワーク。
エンジニアは、Azure CLI を使用して Private Link サービスを変更します。送信元 IP アドレスを使用できません
デフォルトという名前のサブネットから。
問題を解決する必要があります。
コマンドをどのように完了すればよいでしょうか?



Answer:



最新問題: **68**

ある企業では、リソースへのアクセスに Azure Active Directory (Azure AD) と Azure ロールベースのアクセス制御 (RBAC) を使用しています。

一部のユーザーは、他のユーザーに RBAC ロールを付与できないと報告しています。

問題のトラブルシューティングを行う必要があります。

Azure Monitor クエリはどのように完了すればよいですか?

Answer:

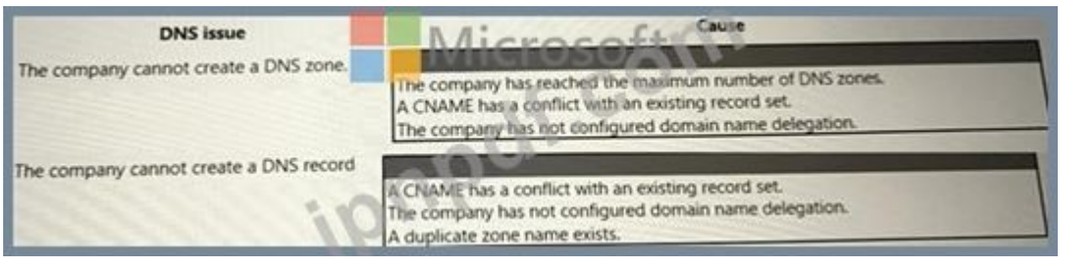
最新問題: **69**

会社はパブリック Azure DNS ゾーンを使用しています。

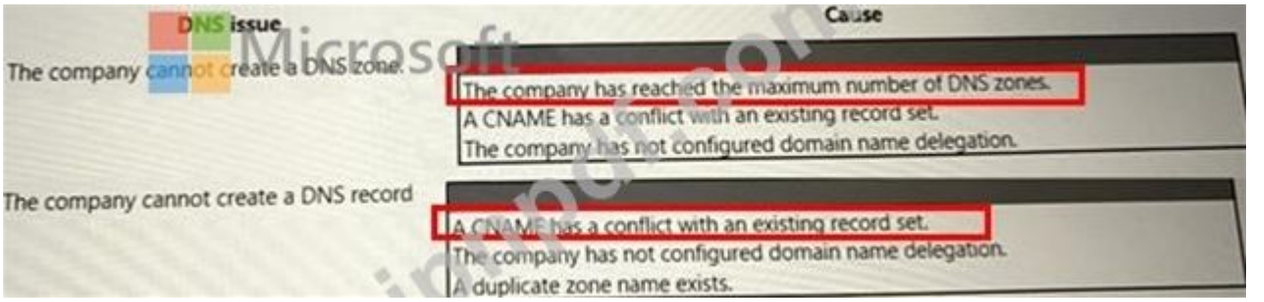
同社は、DNS レコードの作成と名前解決の問題を報告しています。

問題のトラブルシューティングを行う必要があります。

問題の原因は何ですか?



Answer:



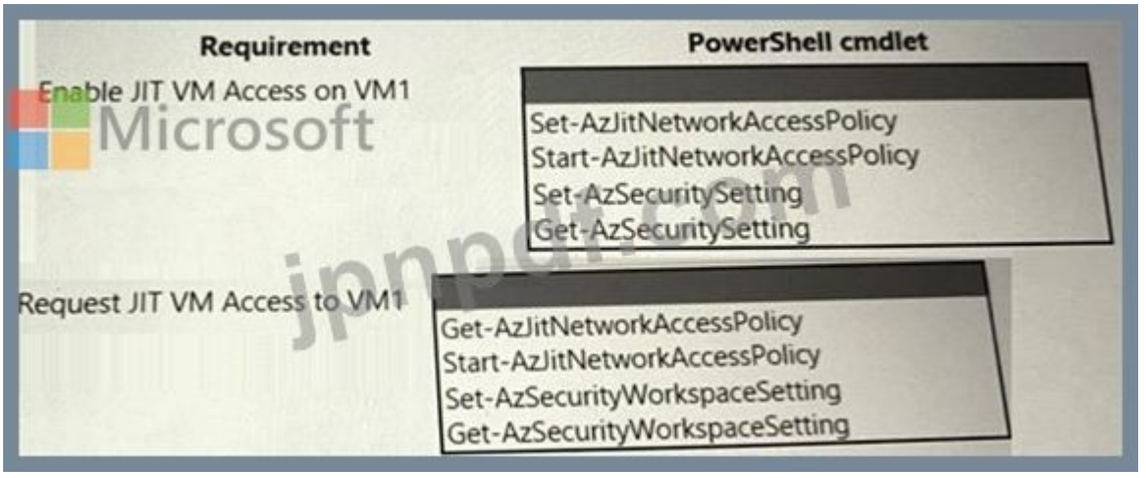
最新問題**: 70**

ある企業は、VM1 という名前の仮想マシン (VM) にジャストインタイム (JIT) アクセスを実装しようとしています。

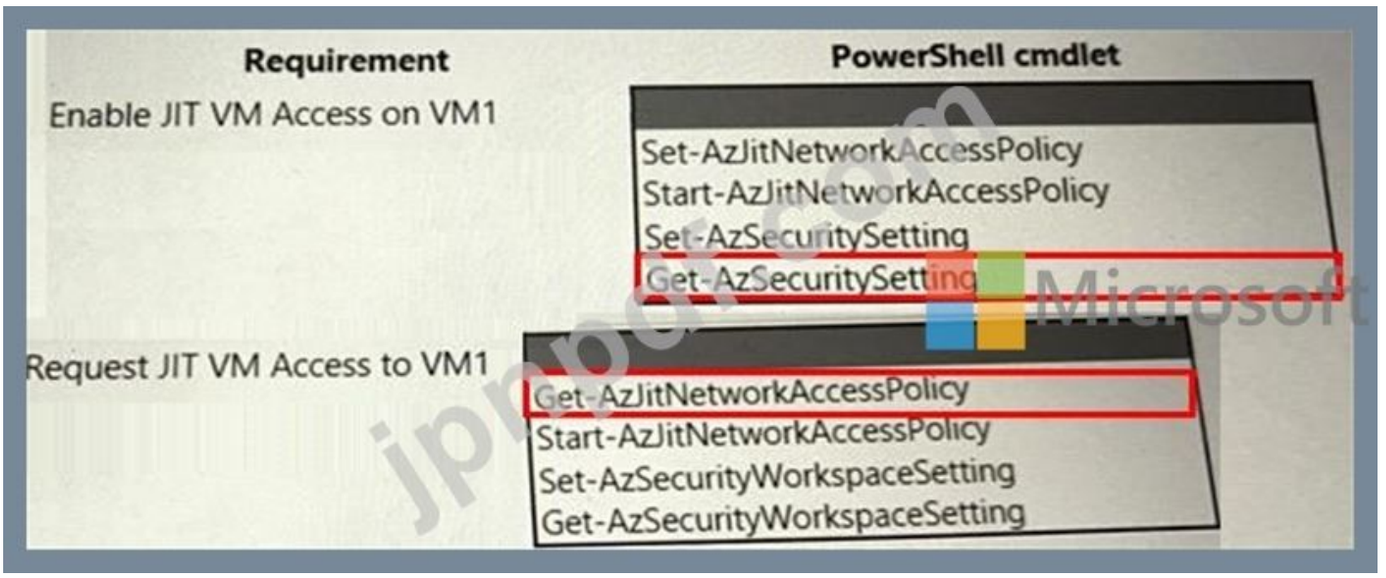
同社は手続きを完了できないと報告している。

JIT アクセスを実装し、展開をテストする必要があります。

どの PowerShell コマンドレットを実行する必要がありますか?



Answer:



最新問題: **71**
Blue Yonder Airlines によって報告された問題のトラブルシューティングを行う必要があります。どの診断ログを確認する必要がありますか?
A. RouteDiagnosticLog
B. ゲートウェイ診断ログ
C. トンネル診断ログ
D. IKEDiagnosticLog
Answer: D (メーッセージを残す)
Blue Yonder Airlines によって報告された問題をトラブルシューティングするには、IKEDiagnosticLog を確認する必要があります。IKEDiagnosticLog には、IPsec VPN 接続の確立に使用される Internet Key Exchange (IKE) プロトコルに関する情報が含まれています。IKEDiagnosticLog は、認証パラメータの不一致、不正な事前共有キー、ネットワーク接続の問題など、VPN 切断や IPsec 接続失敗エラーの原因を特定するのに役立ちます。Azure portal から、または PowerShell コマンドを使用して、IKEDiagnosticLog を有効にしてダウンロードできます。

最新問題: **72**
ある企業は Azure AD Connect を使用しています。同社はセルフサービスパスワードリセット $SPR) を導入する予定だ。
管理者は、Azure AD Connect の構成中にパスワード ライトバック クラウドが有効になっていないというエラーを受け取ります。管理者は次のイベント ログ エラーを確認しました。
認証トークンの取得エラー
問題を解決する必要があります。
解決策: 256 文字未満のパスワードを持つグローバル管理者アカウントを使用して、Azure AD Connect を構成します。
解決策は目標を達成できますか?
A. はい
B. いいえ

Answer: (解答を表示する**)**

最新問題**: 73**
ある企業は、新しいファイル共有アプリケーションを、システムの背後にある 4 台の Standard_D2_v3 仮想マシン (VM) にデプロイします。
Azure ロードバランサー。同社は Azure Firewall を導入しています。
ユーザーから、使用量のピーク時にアプリケーションが遅くなるという報告がありました。エンジニアの報告によれば、ピーク時の使用量は
各 VM は約 1 Gbps です。
少なくとも 10 Gbps をサポートするソリューションを実装する必要があります。
スループットを向上させるには何をすべきでしょうか?
A. 2 台のサーバーを別のロード バランサーの背後に移動し、Traffic Manager でラウンド ロビン ルーティングを構成します。
B. ネットワーク クォータの増加をリクエストします。
C. Azure Firewall を無効にし、代わりにネットワーク セキュリティ グループを実装します。
D. VM インスタンスのサイズを増やします。
Answer: A (メーッセージを残す**)**

最新問題**: 74**
企業は Azure BLOB コンテナーを使用しています。
IT 部門には、リクエストが平均 20 ミリ秒を超えてはならないというサービス レベル アグリーメント (SLA) があります。
SLA レポートを生成するには、ログ分析クエリを実装する必要があります。
クエリをどのように完了すればよいでしょうか?

Answer:

最新問題: **75**

ある会社には Azure 仮想ネットワーク (VNet) があります。管理者は、AzureSastionSubnet という名前のサブネットを VNet に作成します。管理者は Azure BastionSubnet に Azure Bastion をデプロイします。

管理者は、nsg-Bastion という名前のデフォルトのネットワーク セキュリティ グループを作成します。管理者が nsg-Bastion を AzureBastionSubnet に割り当てようとすると、次のエラー メッセージが表示されます。

ネットワーク セキュリティ グループ nsg-Bastion には、Azure Bastion サブネット AzureBastionSubnet に必要なルールがありません。受信セキュリティ ルールに関する問題を解決する必要があります。

どのポートまたはポートのセットを設定する必要がありますか?

Answer:

最新問題: **76**

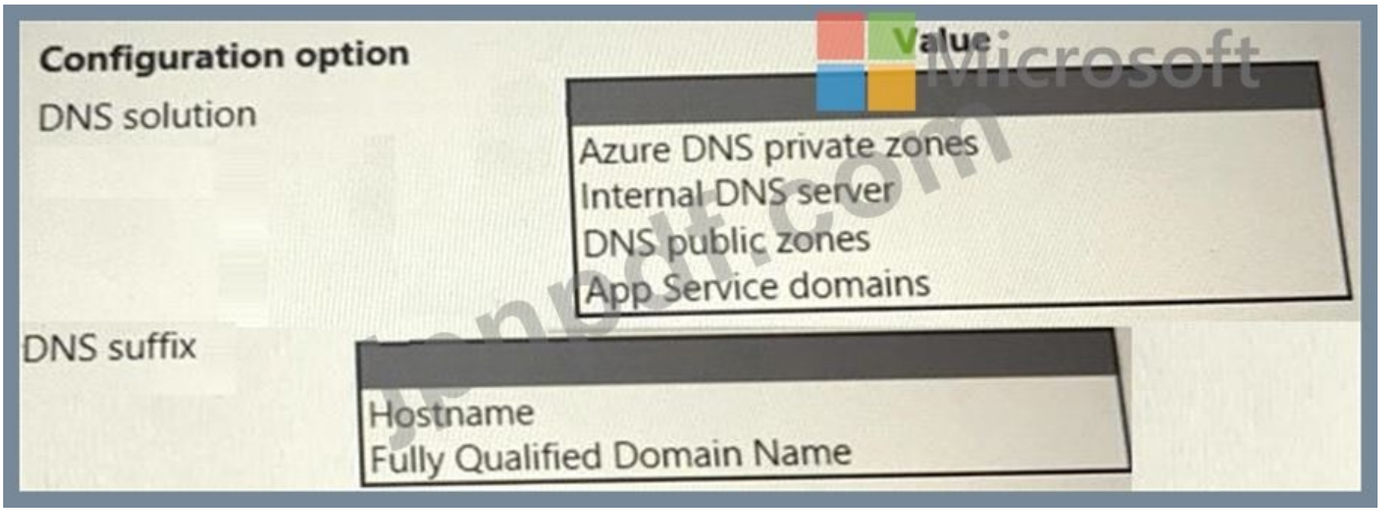
ある会社には Azure Active Directory (Azure AD) テナントがあります。同社は、Active Directory Domain Services (AD DS) ドメインのオブジェクトを同期するために Azure AD Connect をデプロイしています。

AD DS オブジェクトが Azure AD に同期していないことがわかります。

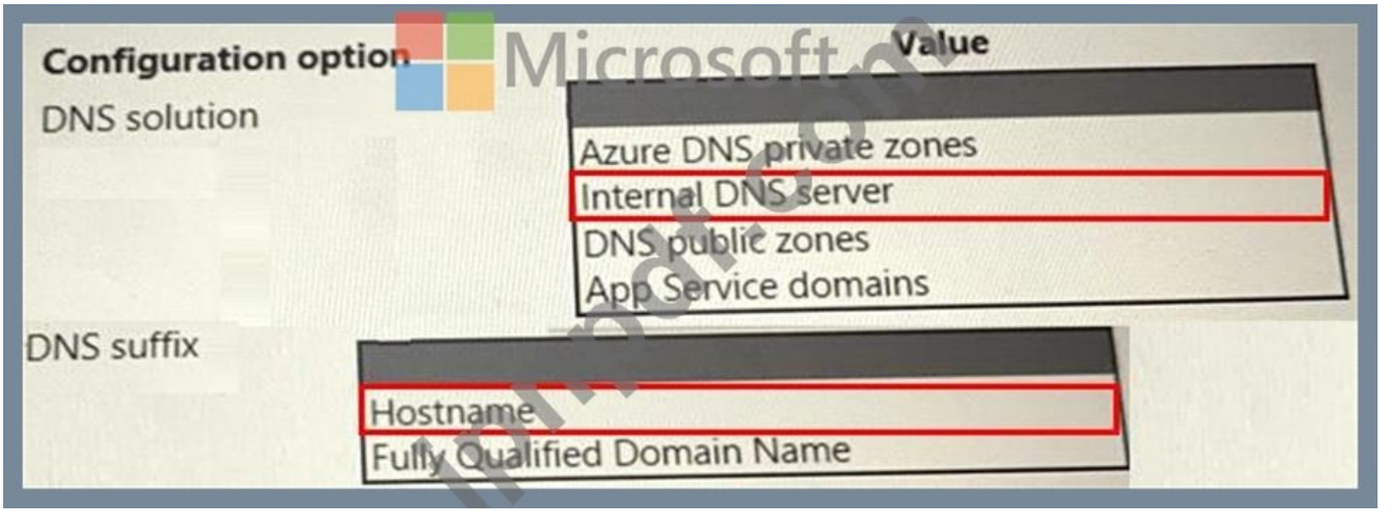
ステージング モードが有効になっていることを確認する必要があります。

あなたは何をするべきか？
A. Azure AD Connect 同期のスケジュールされたタスクのトリガーを確認します。
B. Azure AD Connect 同期のスケジュールされたタスクの履歴を確認します。
C. 次の PowerShell コマンドレットを実行します: Get-ADSyncConnetorRunStatus
D. 次の PowerShell コマンドレットを実行します: Get-ADSyncScheduler
Answer: D (メーッセージを残す**)**

最新問題: **77**
ある企業には、1 つの仮想ネットワークを使用する Azure 環境があります。
同社は、2 つの異なる仮想ネットワークを使用するように環境を再構築しました。一方のネットワーク内の仮想マシンは、もう一方の仮想ネットワーク内の仮想マシンと通信できません。
2 つのネットワーク内の仮想マシン間の接続を再確立する必要があります。
ネットワークをどのように構成すればよいでしょうか?



Answer:



最新問題: **78**

企業は Azure BLOB コンテナーを使用しています。

IT 部門には、平均リクエストが 20 件を超えることができないというサービス レベル アグリーメント (SLA) があります。

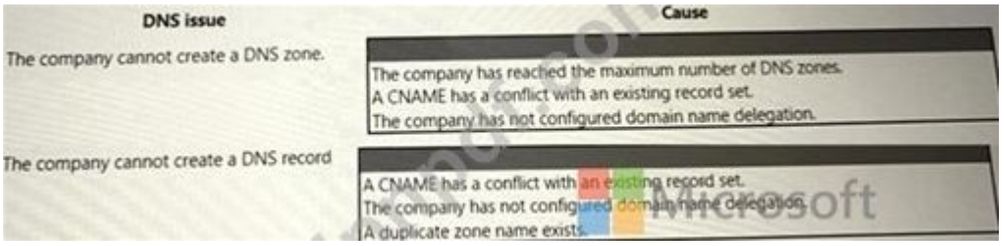
ミリ秒。

SLA レポートを生成するには、ログ分析クエリを実装する必要があります。

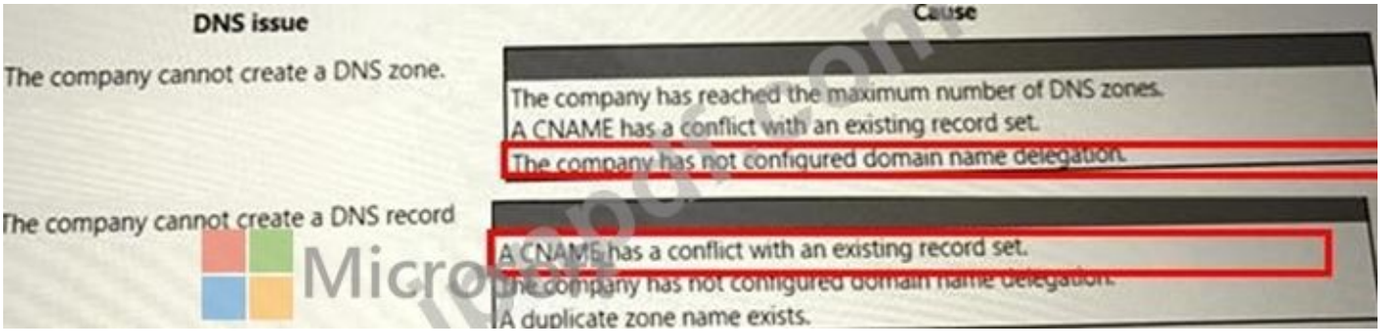
クエリをどのように完了すればよいでしょうか?

Answer:

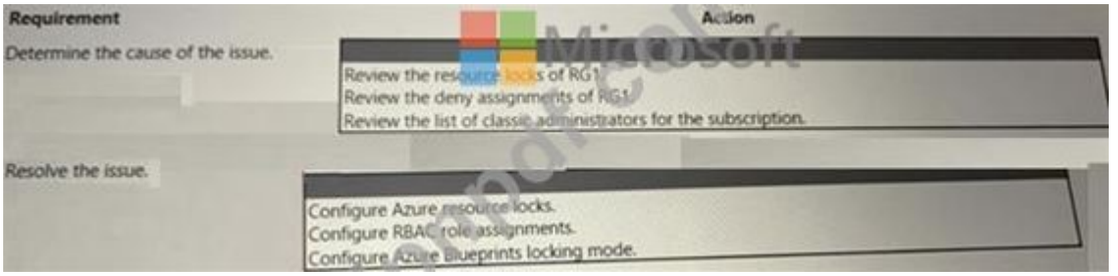
最新問題: **79**
会社はパブリック Azure DNS ゾーンを使用しています。
同社は、DNS レコードの作成と名前解決の問題を報告しています。
問題のトラブルシューティングを行う必要があります。
問題の原因は何ですか?



Answer:

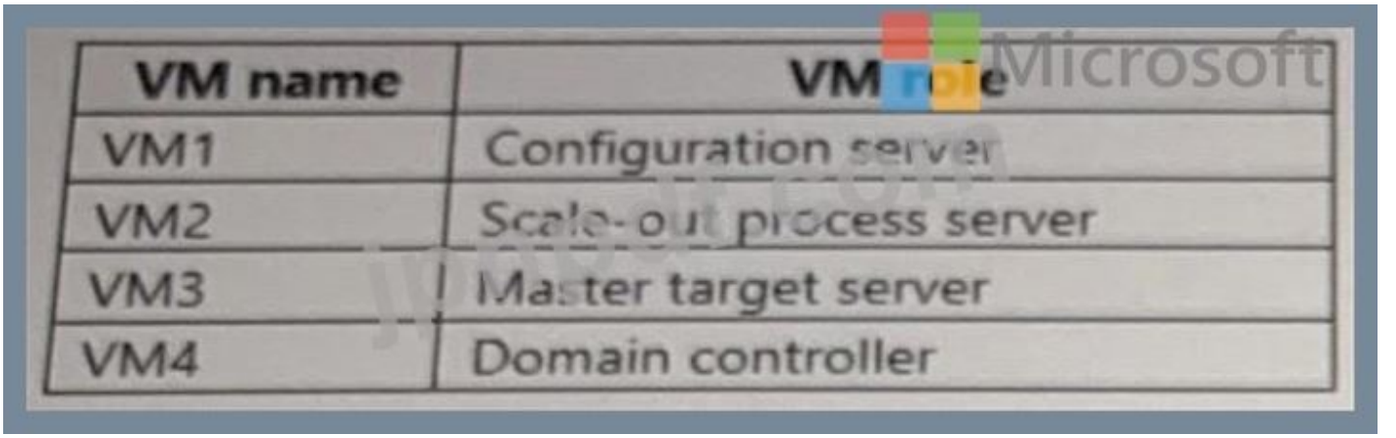


最新問題: **80**
ある会社には Azure Active Directory (Azure AD) テナントがあります。RG1 という名前の Azure リソース グループの所有者ロールベースのアクセス制御 (RBAC) ロールが割り当てられています。
管理者は、User1 という名前のユーザーに RG1 の共同作成者 RBAC ロールを付与します。User1 は、RG1 で Cosmos DB アカウントを作成しようとすると、承認エラーを受け取ります。
管理者は、RG1 で Cosmos DB アカウントを作成できることを確認します。
問題のトラブルシューティングを行う必要があります。
あなたは何をするべきか?



Answer:

最新問題: **81**
ある企業は、次の仮想マシン (VM) を含む VMware 環境に Azure Site Recovery (ASR) を使用しています。



VM name	VM role
VM1	Configuration server
VM2	Scale-out process server
VM3	Master target server
VM4	Domain controller

同社は、すべてのサーバーをレプリケーション用に構成できないと報告しています。
サーバーとサーバーの役割を評価して、どのサーバーを保護できるかを決定する必要があります。
ASR を使用して保護できるサーバーはどれですか?
A. VM3
B. VM2
C. VM4
D. VM1
Answer: A (メーッセージを残す**)**

最新問題: **82**
ある会社には、VNetGW1 という名前の Azure Virtual Network ゲートウェイがあります。同社はポイントツーサイトを可能にします
VNetGW1 上の接続。管理者は、次のように VNetGW1 を構成します。
* トンネル タイプの OpenVPN。
* 認証タイプの Azure 証明書。
VPN クライアントを使用して接続すると、ユーザーは証明書の不一致エラーを受け取ります。
証明書の不一致エラーを解決する必要があります。
あなたは何をするべきか？
A. ユーザーのコンピュータに IKEv2 VPN クライアントをインストールします。
B. クライアント認証を有効にしてクライアント証明書を再発行します。
C. プロファイルを手動で作成し、サーバーの FQDN を追加して、クライアント証明書を再発行します。
D. VNetGW1 で IKEv2 および OpenVPN のトンネル タイプを構成します。
Answer: D (メーッセージを残す**)**

最新問題: **83**

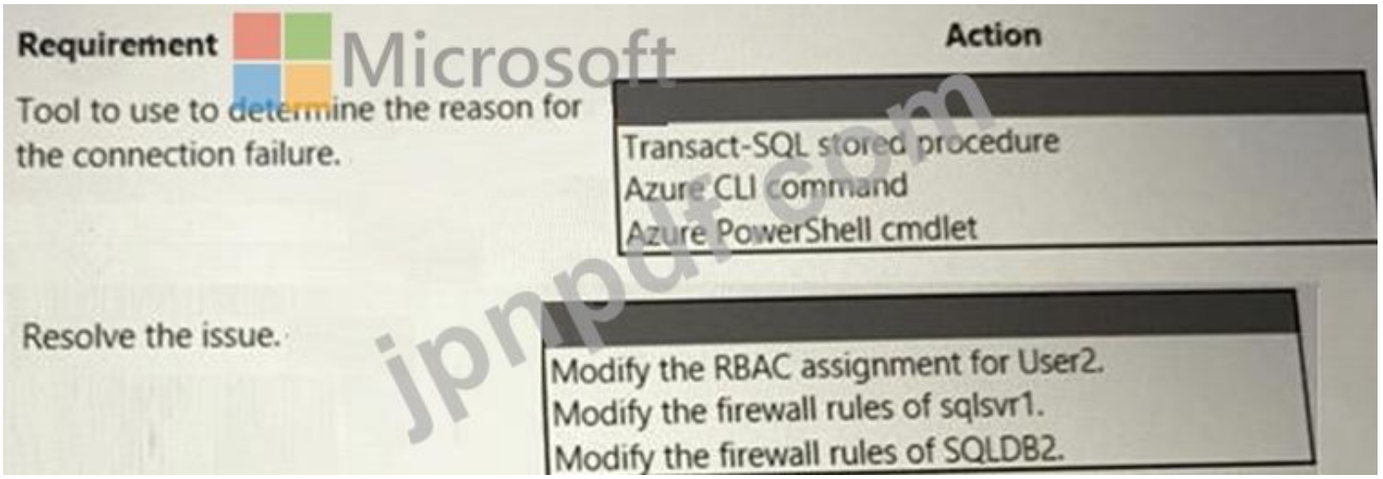
会社は、RG1 という名前の Azure リソース グループを作成します。RG1 には、次のリソースをホストする sqlsvr1 という名前の Azure SQL Database 論理サーバーがあります。

Resource	Description
VM1	Virtual machine
SQLDB1	Azure SQL database
SQLDB2	Azure SQL database

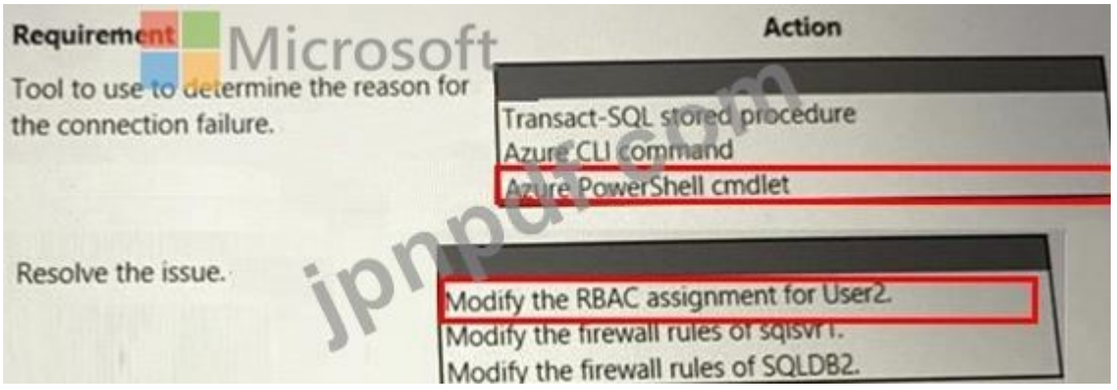
管理者は、User1 という名前のユーザーに RG1 の Reader RBAC ロールを付与します。管理者は User2 に sqlsvr1 の共同作成者ロールを付与します。
User1 は、IP アドレス 155.127.95.212 から SQLDB1 に接続できると報告しています。User1 は SQLDB2 に接続できません。User2 は、IP アドレス 121.19.27.18 から SQLDB1 と SQLDB2 の両方に接続できます。どちらのユーザーも VM1 から SQLDB1 と SQLDB2 に正常に接続できます。
あなたは、管理者による問題のトラブルシューティングを支援しています。次の PowerShell コマンドを実行します。
Get-AzSqlServerFirewallRule -ResourceGroupName 'RG1' -ServerName 'sqlsvr1' 次の出力が表示されます。

```
ResourceGroupName  : RG1
ServerName         : sqlsvr1
StartIpAddress     : 0.0.0.0
EndIpAddress       : 0.0.0.0
FirewallRuleName   : Rule01

ResourceGroupName  : RG1
ServerName         : sqlsvr1
StartIpAddress     : 72.225.0.0
EndIpAddress       : 72.225.255.255
FirewallRuleName   : Rule02
```

報告された問題の原因を特定し、User1 の問題を解決する必要があります。ソリューションは最小特権の原則を満たす必要があります。
あなたは何をするべきか？



Answer:



最新問題**: 84**
企業は、Azure VPN Gateway を使用してオンプレミス ネットワークに接続します。オンプレミス環境には、ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) を使用してゲートウェイに個別にトンネリングする 3 つの VPN デバイスが含まれています。
新しいサブネットはオンプレミス ネットワークから到達できないようにする必要があります。
解決策を実装する必要があります。
解決策: ルート伝播を無効にしてルート テーブルを設定します。
解決策は目標を達成できますか?
A. いいえ
B. はい
Answer: (解答を表示する**)**

最新問題**: 85**
企業は Azure Virtual Network ゲートウェイをデプロイします。会社は、を使用してゲートウェイに接続します。
サイト間 VPN 接続。
会社のオンプレミス VPN ゲートウェイは、Azure からのフェーズ 1 提案に関する問題を報告しています。
仮想ネットワークゲートウェイ。
ログを確認して問題をトラブルシューティングする必要があります。

どのログを分析する必要がありますか?

A. IKEDiagnosticLog

B. RouteDiagnosticLog

C. ゲートウェイ診断ログ

D. P2SDiagnosticLog

Answer: A (メーッセージを残す**)**

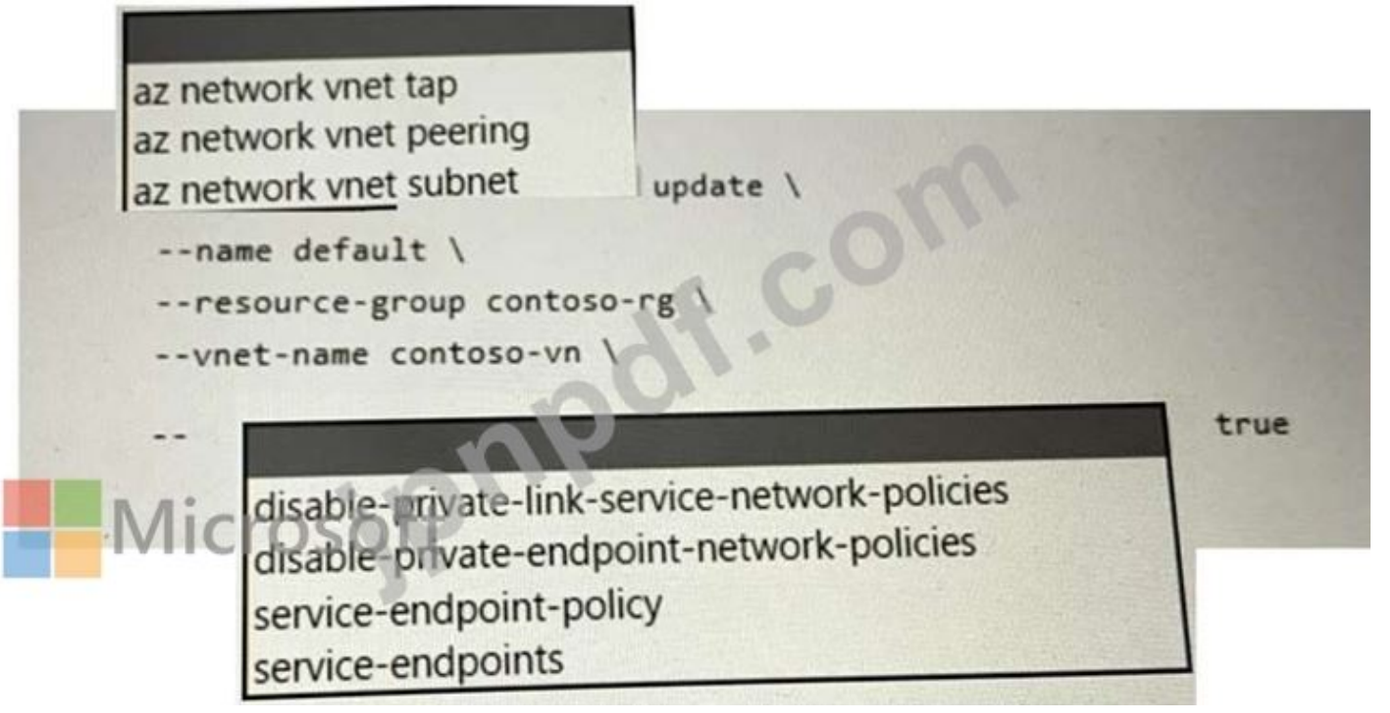
最新問題**: 86**

Contoso という名前の会社は、Azure Private Link を使用して Azure PaaS サービスに接続します。この会社には、contoso-rg という名前のリソース グループに contoso-vn という名前の仮想ネットワークがあります。

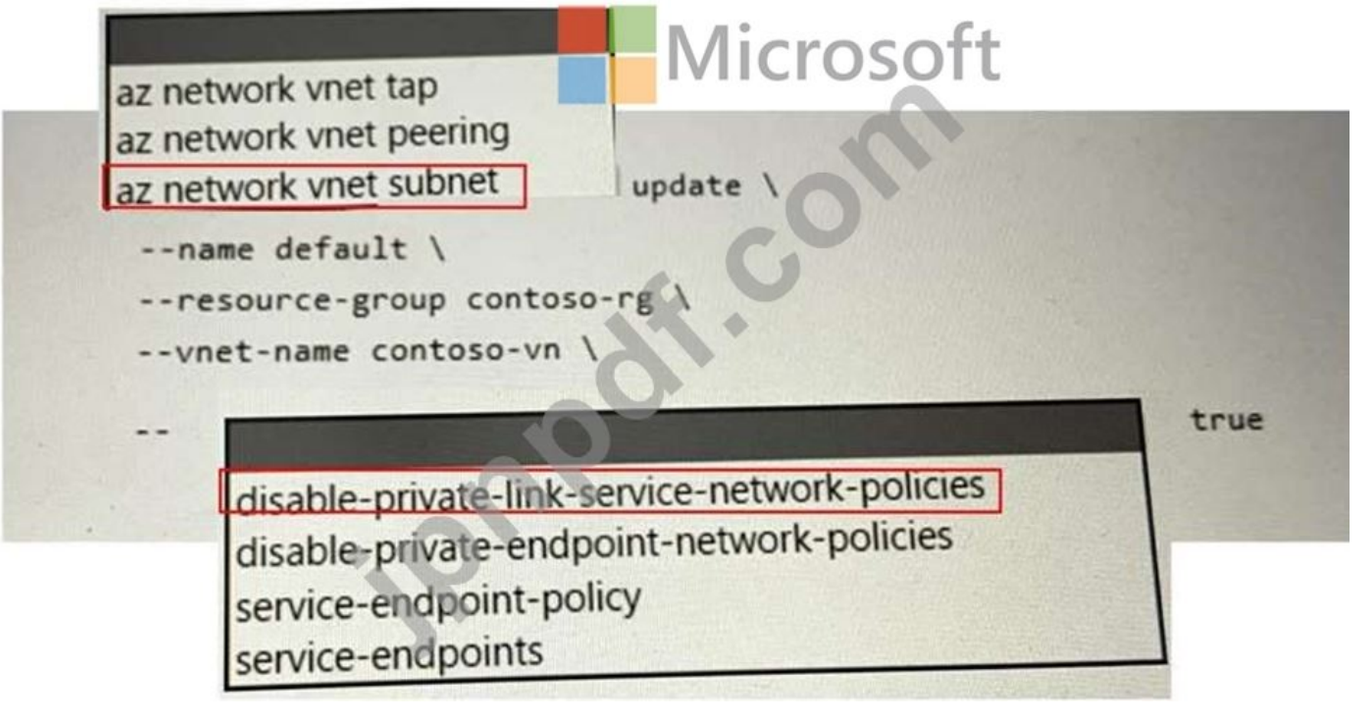
エンジニアは、Azure CLI を使用して Private Link サービスを変更します。デフォルトという名前のサブネットからの送信元 IP アドレスを使用することはできません。

問題を解決する必要があります。

コマンドをどのように完了すればよいでしょうか?



Answer:



最新問題: **87**
ある企業は、Azure でジャストインタイム (JIT) 仮想マシン (VM) アクセスを有効にしています。
管理者は、Microsoft Defender for Cloud ポータルの JIT VM アクセス ページの [サポートされていない] タブで VM のリストを確認します。
一部の VM が JIT VM アクセスでサポートされていない理由を特定する必要があります。
どう結論づけるべきでしょうか?
A. ネットワーク セキュリティ グループは VM に関連付けられていません。
B. クライアント ファイアウォールは VM 上のポート 3389 を許可しません。
C. 管理者は Microsoft Defender for Cloud の無料枠を使用しています。
D. 管理者には SecurityReader ロールがありません。
Answer: A (メーッセージを残す**)**

最新問題: **88**
企業が新しいアプリケーションをデプロイし、そのアプリケーションを Azure Application Gateway Web の背後に配置します。
アプリケーション ファイアウォール (WAF)。
クライアント IP 203.0.113.26 のユーザーが、アプリケーションにアクセスできないと報告しています。
問題のトラブルシューティングを行う必要があります。
クエリをどのように完了すればよいでしょうか?

Answer:

最新問題: **89**

ある企業では、VNe1m という名前の仮想ネットワークに 2 つのサブネットがあり、サブネットの名前は SubnetA と SubnetB です。同社は、SubnetB のサイト間 (S2) VPN を使用して、オンプレミス環境を Azure に接続しています。

SQL1 という名前の Azure SQL データベースをデプロイします。SubnetA で Microsft.SqL のサービス エンドポイントを構成します。

A. SQL1 のプライベート IP アドレスの DNS レコードを構成します。

B. SubnetA でポート 1433 を許可するようにネットワーク セキュリティ グループ (NSG) を構成します。

C. SubnetB にサービス エンドポイントを構成します。

D. SQL1 のプライベート エンドポイントをデプロイします。

E. VNet1 に Azure ExpressRoute 回線をデプロイします。

Answer: D (メーッセージを残す**)**

オンプレミス環境が SubnetB のサイト間 (S2S) VPN 経由で SQL1 という名前の Azure SQL Database にアクセスできるようにするには、SQL1 のプライベート エンドポイントをデプロイする必要があります。プライベート エンドポイントは、Azure Private Link を利用したサービスにプライベートかつ安全に接続するネットワーク インターフェイスです。Private Link を使用すると、仮想ネットワーク内のプライベート エンドポイントを介して、Azure PaaS サービス (Azure Storage や SQL Database など) や Azure でホストされる顧客/パートナー サービスにアクセスできます。したがって、正解は D. SQL1 のプライベート エンドポイントをデプロイします。

プライベート エンドポイントの詳細については、Microsoft の公式ドキュメントを参照してください。

最新問題: **90**

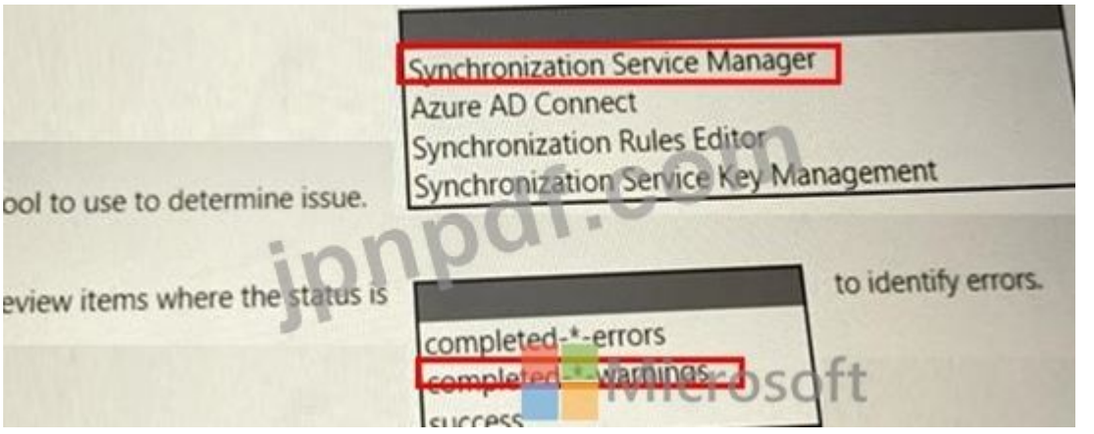
企業は認証に Azure Active Directory (Azure AD) を使用しています。同社は Azure AD をオンプレミスの Active Directory ドメインと同期しています。

同社は、Azure AD オブジェクトが同期に失敗すると報告しています。

どのオブジェクトが同期していないのかを判断する必要があります。

障害を診断するにはどのトラブルシューティング手順を使用する必要がありますか?

Answer:



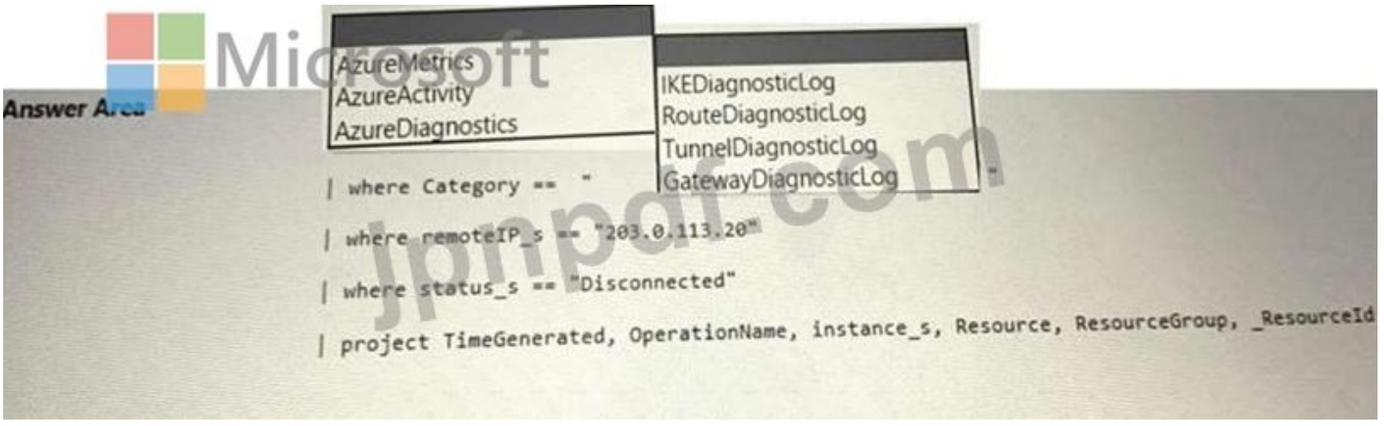
最新問題: **91**

ある企業は、IP アドレス 203.0.113.20 の Azure VPN ゲートウェイを使用しています。

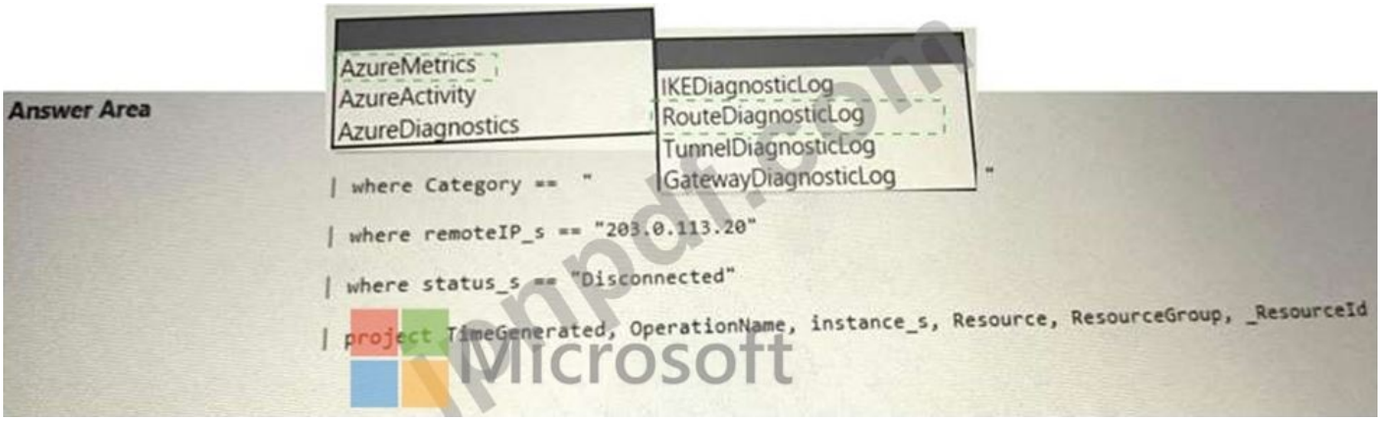
ユーザーは、VPN 接続が頻繁に切断されると報告しています。

それぞれの接続障害がいつ発生したかを判断する必要があります。

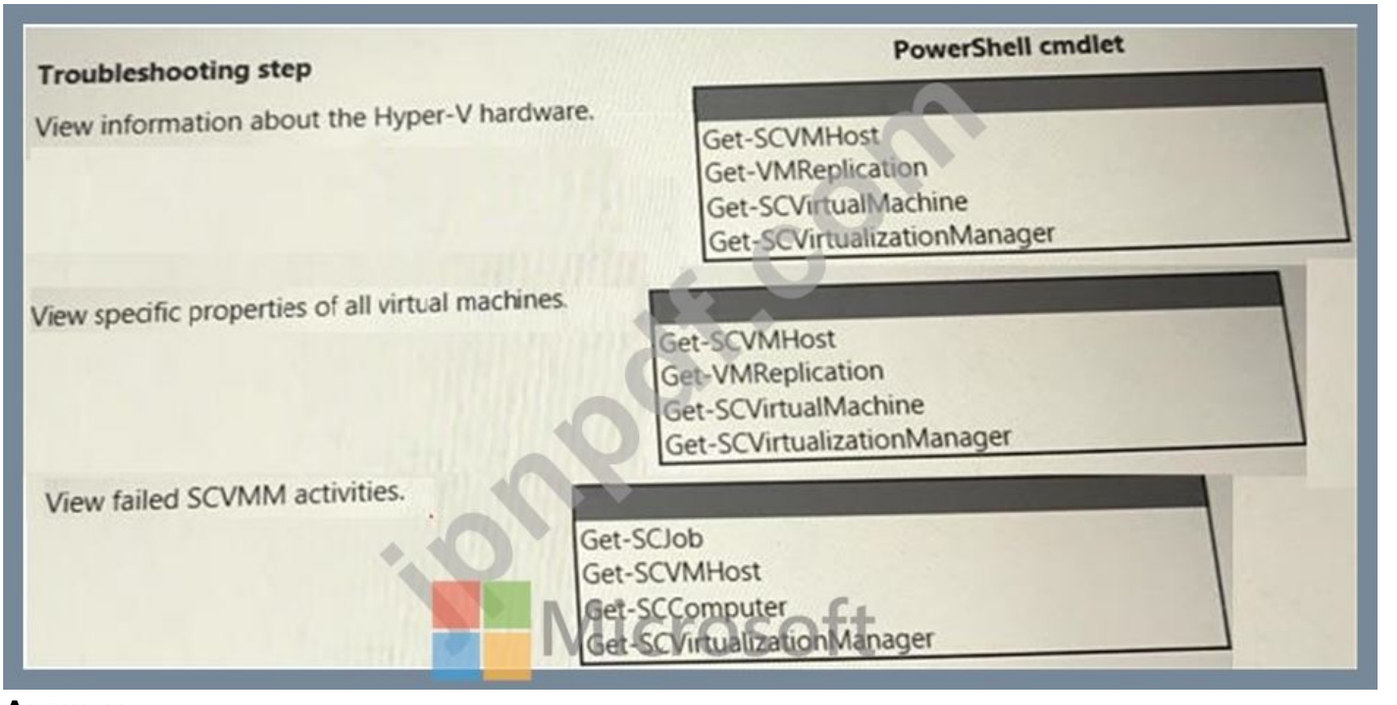
Azure Monitor クエリはどのように完了すればよいですか?



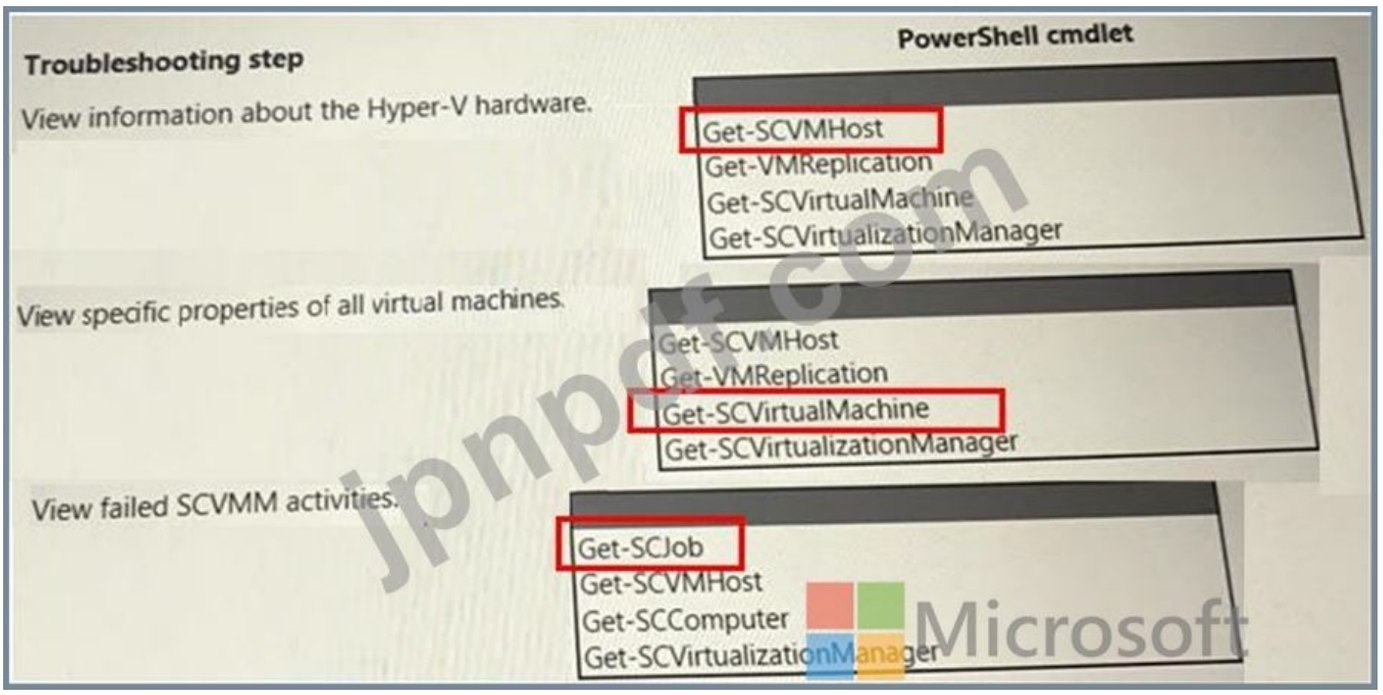
Answer:



最新問題: **92**
ある企業は、オンプレミスの Hyper-V サーバーに Azure Site Recovery を使用しています。同社は、System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) を使用してサーバーを管理しています。
管理者は、セカンダリ サイトへのレプリケーションが失敗したと報告しました。
SCVMM ログと構成ファイルを検査する必要があります。



Answer:



最新問題: **93**

顧客は、LB1 という名前の内部標準 SKU ロード バランサーを含む VNet1 という名前の Azure 仮想ネットワークを持っています。LB1 のバックエンド プールには、VM1、VM2 の仮想マシンが含まれています。

お客様は、VM1 と VM2 の受信 HTTPS 要求の負荷を分散するために、Rul1 という名前のルールを構成します。Rule1 は HTTPS 正常性プローブに関連付けられています。プローブのパスは / に設定されます。

VM1 と VM2 のネットワーク アダプターは、次のルールを含む NSG1 という名前のネットワーク セキュリティに関連付けられています。

Priority	Port	Protocol	Source	Destination	Action
300	443	TCP	Any	VirtualNetwork	Allow
500	Any	Any	Any	Any	Deny
65000	Any	Any	VirtualNetwork	VirtualNetwork	Allow
65001	Any	Any	AzureLoadBalancer	Any	Allow
65500	Any	Any	Any	Any	Deny

VNet1 から https://VM1 および https://VM2 に接続します。LB1 のフロントエンド IP アドレスを使用して接続しようとすると失敗します。

問題を解決する必要があります。

あなたは何をするべきか？

A. Rule1 に関連付けられた正常性プローブを HTTP を使用するように変更します。

B. ソースを VirtualNetwork に設定して NSG1 ルールを追加します。

C. Rule1 に関連付けられた正常性プローブを変更して、TCP を使用します。

D. ソースを AzureLoadBalancer に設定して NSG1 ルールを追加します。

Answer: D (メーッセージを残す)

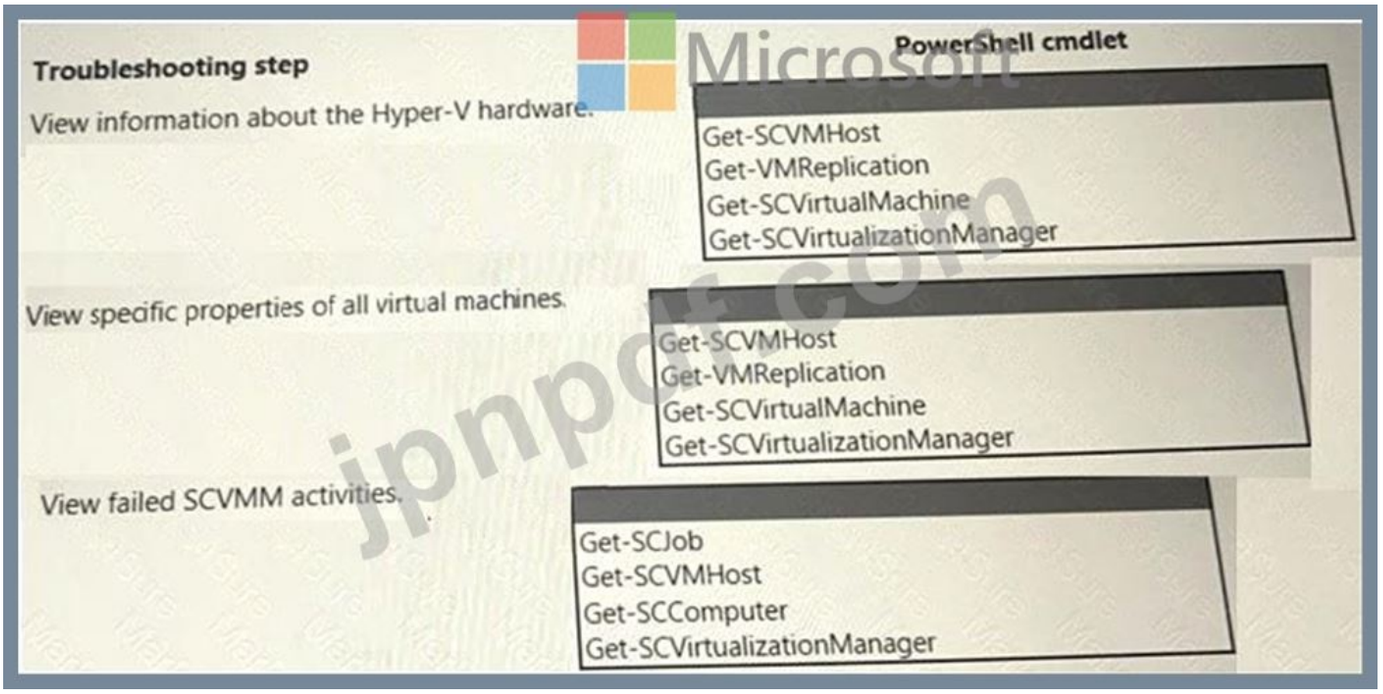
Microsoft によると、Azure Load Balancer の正常性プローブは IP アドレス 168.63.129.16 から発信されており、インスタンスをアップとしてマークするためにプローブをブロックしてはなりま

せん。AzureLoadBalancer サービス タグは、ネットワーク セキュリティ グループ内のこの送信元 IP アドレスを識別し、既定で正常性プローブ トラフィックを許可します 1。https://learn.microsoft.com/en-us/azure/load-balancer/load-balancer-custom-probe-overview

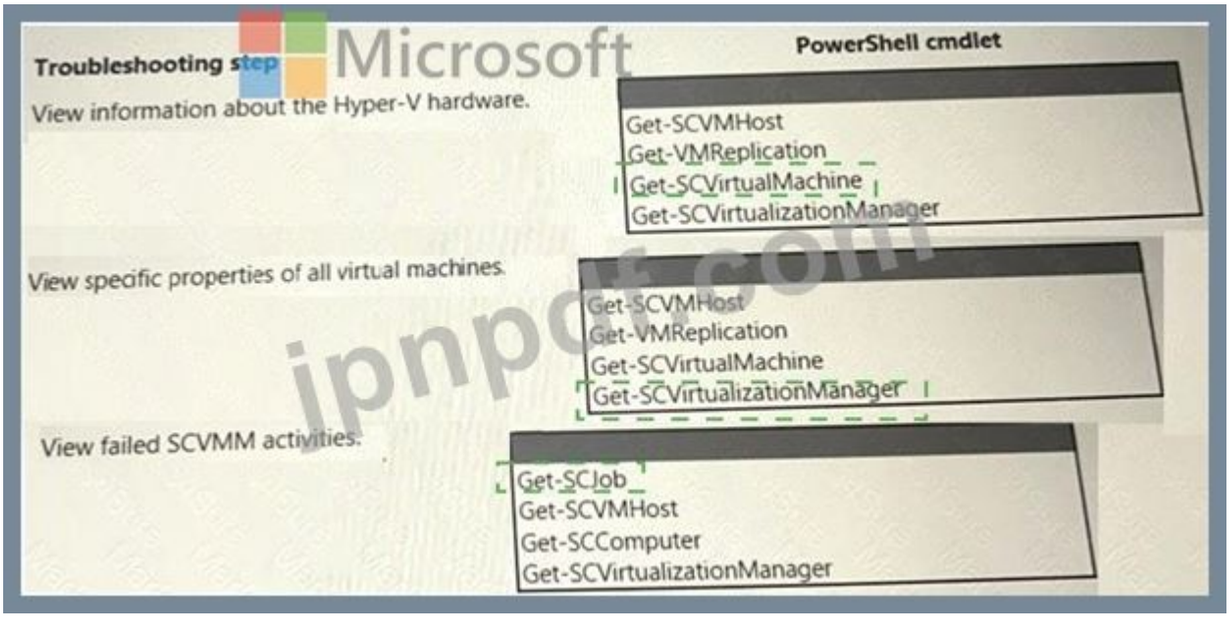
最新問題: **94**
ある会社には、VNetGW1 という名前の Azure Virtual Network ゲートウェイがあります。同社は、VNetGW1 でのポイント対サイト接続を有効にしています。管理者は、次のように VNetGW1 を構成します。
トンネル タイプの OpenVPN。
認証タイプの Azure 証明書。
VPN クライアントを使用して接続すると、ユーザーは証明書の不一致エラーを受け取ります。
証明書の不一致エラーを解決する必要があります。
あなたは何をするべきか？
A. ユーザーのコンピュータに IKEv2 VPN クライアントをインストールします。
B. クライアント認証を有効にしてクライアント証明書を再発行します。
C. プロファイルを手動で作成し、サーバーの FQDN を追加して、クライアント証明書を再発行します。
D. VNetGW1 で IKEv2 と OpenVPN のトンネル タイプを構成します。
Answer: (解答を表示する**)**
証明書の不一致エラーを解決するには、クライアント認証を有効にしてクライアント証明書を再発行する必要があります。1 によると、ポイント対サイト VPN 接続の認証タイプに Azure 証明書を使用する場合は、クライアント証明書に拡張キー使用属性の 1 つとしてクライアント認証が含まれていることを確認する必要があります。そうしないと、VPN クライアントを使用して接続するときに証明書の不一致エラーが発生します。

最新問題: **95**
ある企業は、Azure Load Balancer の背後にある 4 台の Standard_D2_v3 仮想マシン (VM) に新しいファイル共有アプリケーションをデプロイします。同社は Azure Firewall を導入しています。
ユーザーから、使用量のピーク時にアプリケーションが遅くなるという報告がありました。エンジニアの報告によると、各 VM のピーク使用量は約 1 Gbps です。
少なくとも 10 Gbps をサポートするソリューションを実装する必要があります。
スループットを向上させるには何をすべきでしょうか?
A. 2 台のサーバーを別のロード バランサーの背後に移動し、Traffic Manager でラウンド ロビン ルーティングを構成します。
B. ネットワーク クォータの増加をリクエストします。
C. VM インスタンスのサイズを増やします。
D. Azure Firewall を無効にし、代わりにネットワーク セキュリティ グループを実装します。
Answer: A (メーッセージを残す**)**

最新問題: **96**
ある企業は、オンプレミスの Hyper-V サーバーに Azure Site Recovery を使用しています。会社がサーバーを管理している
System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) を使用します。
管理者は、セカンダリ サイトへのレプリケーションが失敗したと報告しました。
SCVMM ログと構成ファイルを検査する必要があります。
どの PowerShell コマンドレットを使用する必要がありますか?

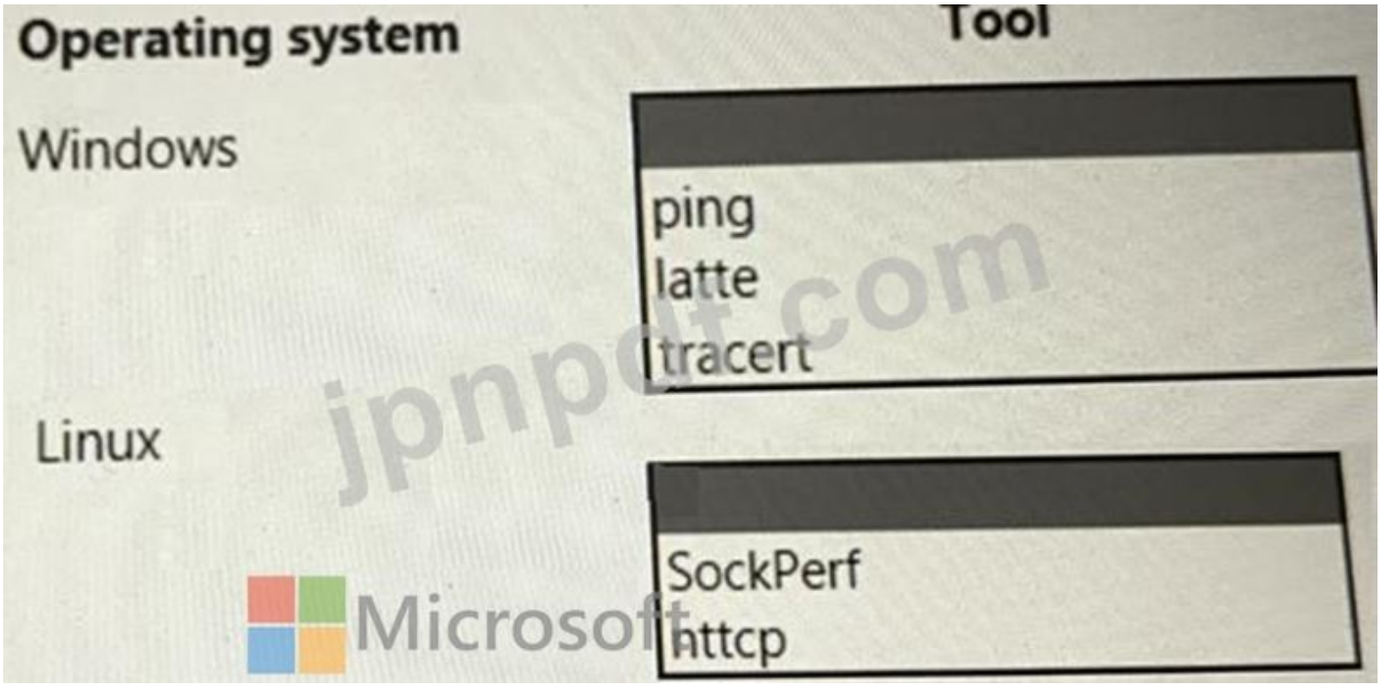


Answer:

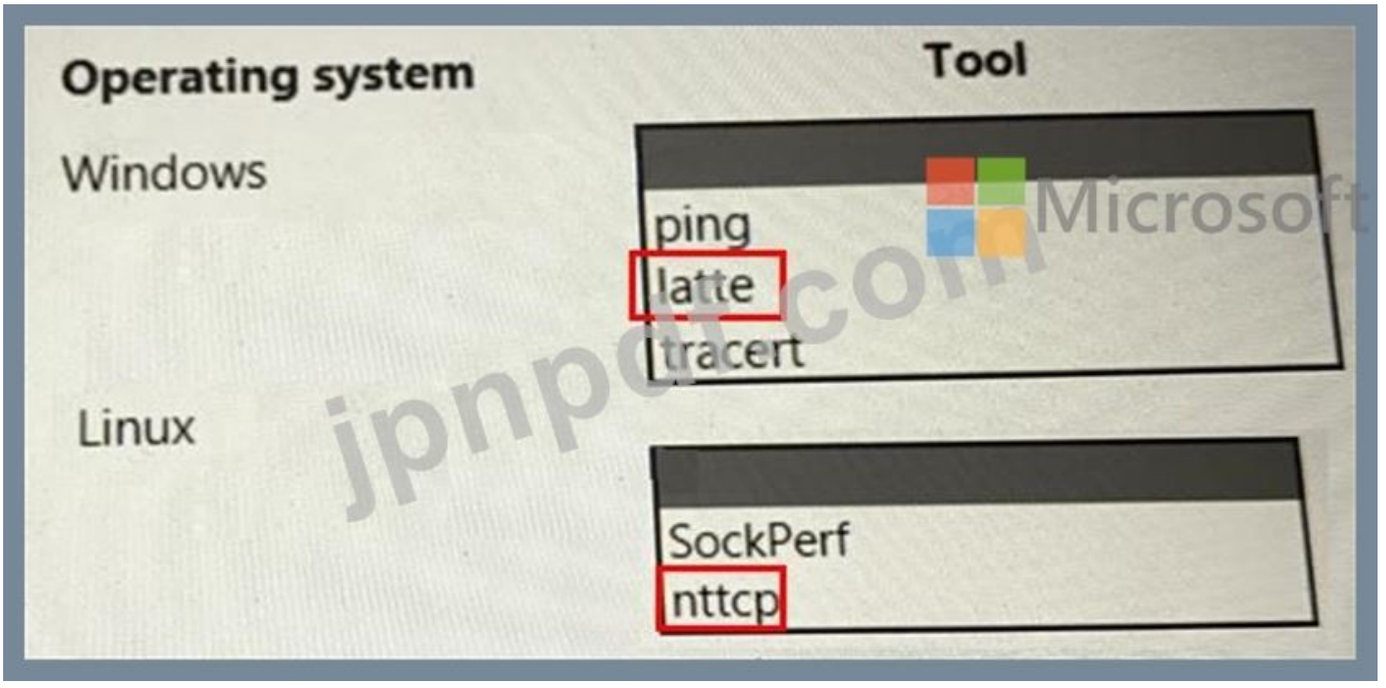


最新問題: **97**
ある企業は、Azure 仮想ネットワークに Windows および Linux VM を実装しています。同社は、仮想ネットワークにルーティングの変更を適用する予定です。

TCP および UDP トラフィックを使用するアプリケーションに影響を及ぼすネットワーク遅延に対するこれらの変更の影響を判断する必要があります。ソリューションは最高レベルの精度を提供する必要があります。
どのツールを使用する必要がありますか?

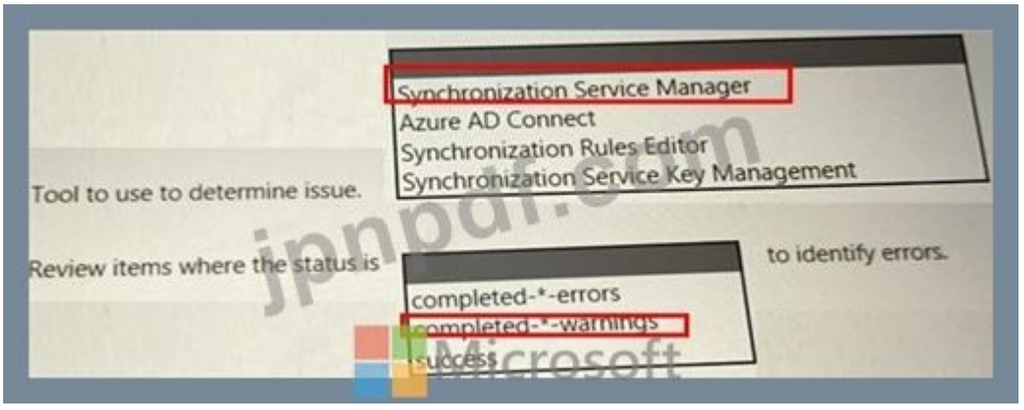


Answer:



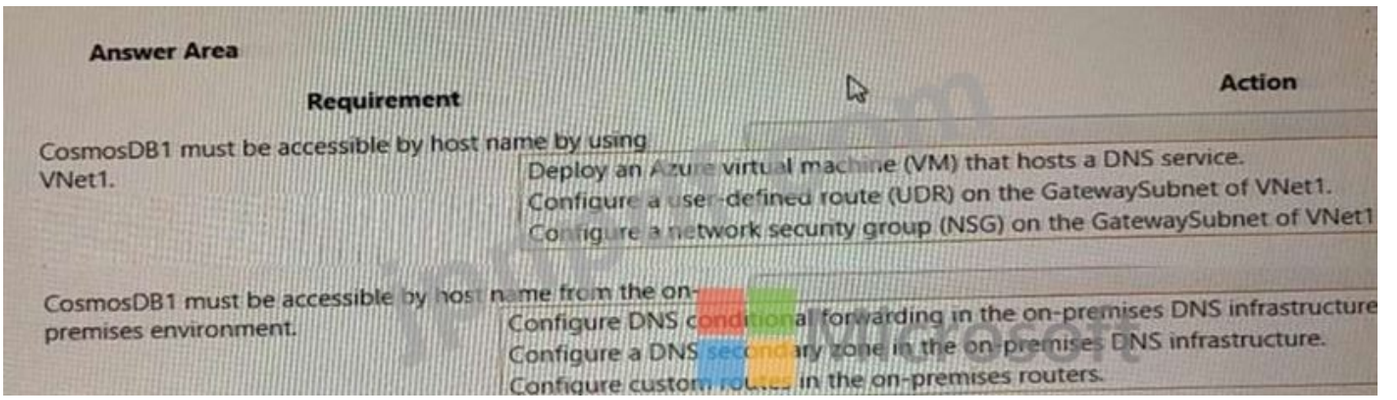
最新問題: **98**
企業は認証に Azure Active Directory (Azure AD) を使用しています。同社は Azure AD をオンプレミスの Active Directory ドメインと同期しています。
同社は、Azure AD オブジェクトが同期に失敗すると報告しています。
どのオブジェクトが同期していないのかを判断する必要があります。
障害を診断するにはどのトラブルシューティング手順を使用する必要がありますか?

Answer:

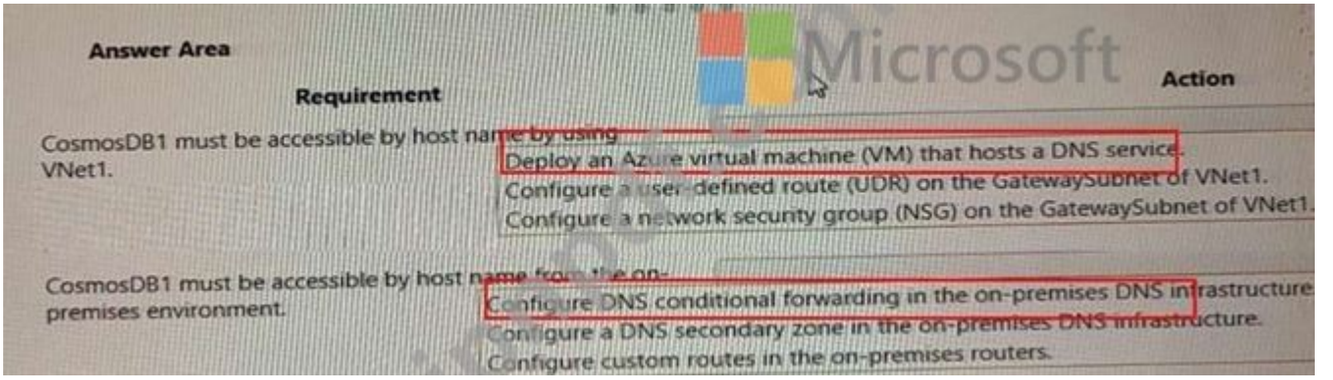


最新問題: **99**
ある企業は、VNetGW1 という名前の Azure Virtual Network (VNet) ゲートウェイを使用しています。VNetGW1 は、動的ルーティングを備えたサイト間 VPN 接続を使用してパートナー サイトに接続します。
同社は、VPN が時々切断されることを観察しています。
切断の原因をトラブルシューティングする必要があります。
何を確認する必要がありますか?
A. VNetGW1 がサブネット セキュリティ アソシエーション ペアを超えました。
B. パートナーの VPN デバイスのパブリック IP アドレスは、VNetGW1 上のローカル ネットワーク ゲートウェイ アドレス空間で構成されます。
C. パートナーの VPN デバイスと VNetGW1 は、同じ共有キーを使用して構成されています。
D. パートナーの VPN デバイスと VNetGW1 は、同じ仮想ネットワーク アドレス空間で構成されています。
Answer: C (メーッセージを残す**)**

最新問題: **100**
CosmosDB1 という名前のオンプレミス データベースとの接続の問題を解決する必要があります。
あなたは何をするべきか？回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。
注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。



Answer:



最新問題: **101**

企業は、オンプレミス ネットワークと Azure 仮想ネットワークの間に Azure サイト間 VPN を構成します。

同社は、設定を完了した後、VPN 接続を確立できないと報告しています。

接続の問題をトラブルシューティングする必要があります。

まず何をすべきでしょうか?

A. PowerShell コマンドレット Get-AzVirtualNetworkGatewayConnectionSharedKey を実行して、共有キーを特定します。

B. PowerShell コマンドレット Get-AzVirtualNetworkGatewayConnectionVpnDeviceConfigScript を実行して、共有キーを特定します。

C. AzureRoot.cer ファイルが存在することを確認します。

D. AzureClient.pfx ファイルが存在することを確認します。

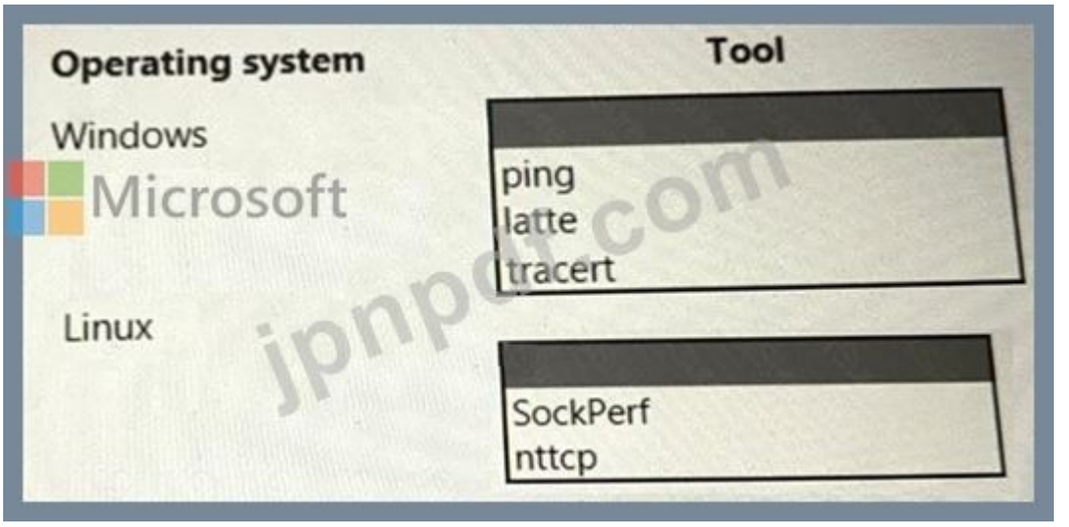
Answer: A (メーッセージを残す**)**

接続の問題のトラブルシューティングを行うには、まず PowerShell コマンドレット Get-AzVirtualNetworkGatewayConnectionSharedKey を実行して共有キーを特定する必要があります。1 によると、このコマンドレットは、Azure 仮想ネットワーク ゲートウェイとローカル ネットワーク ゲートウェイ間の認証に使用される共有キーを返します。このコマンドレットを使用すると、共有キーが VPN 接続の両側で一致することを確認できます。

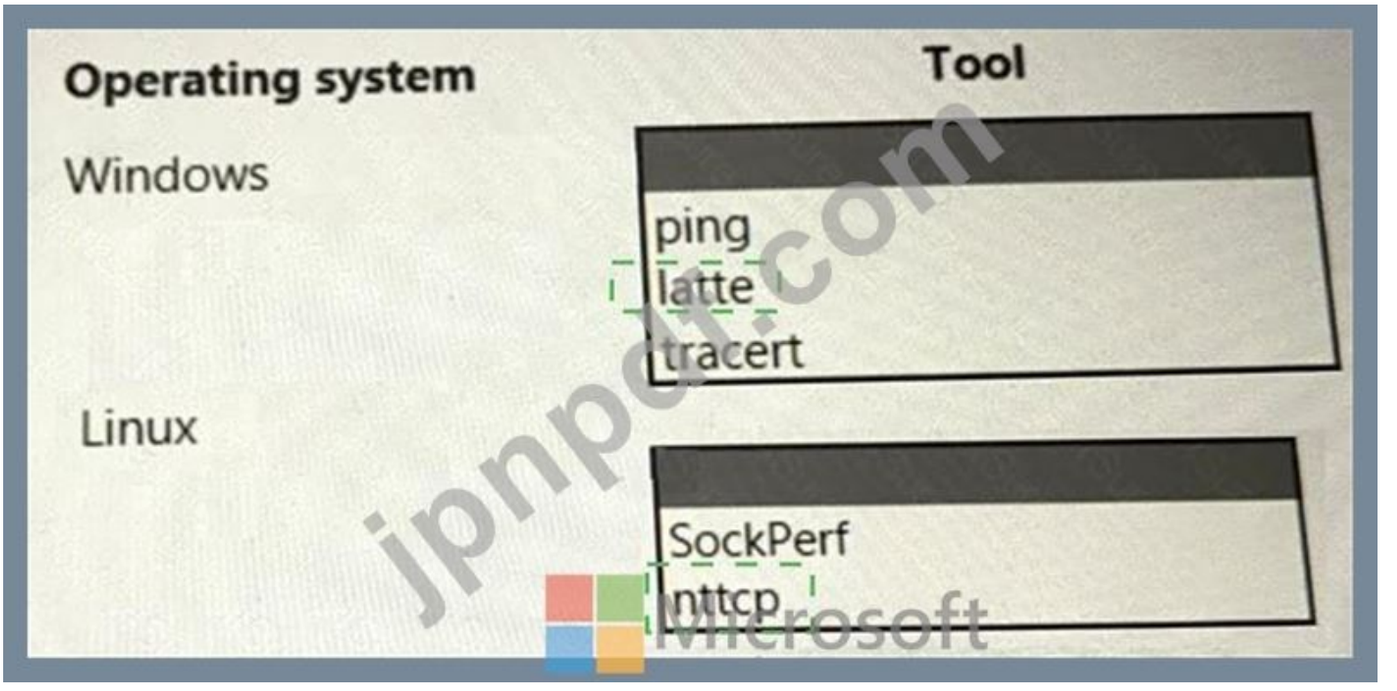
したがって、A を選択する必要があります。PowerShell コマンドレット Get-AzVirtualNetworkGatewayConnectionSharedKey を実行して、共有キーを識別します。

最新問題: **102**

ある企業は、Azure 仮想ネットワークに Windows および Linux VM を実装しています。同社は応募を予定している
仮想ネットワークへのルーティングが変更されます。
TCP を使用するアプリケーションに影響を及ぼすネットワーク遅延に対するこれらの変更の影響を判断する必要があります。
UDP トラフィック。ソリューションは最高レベルの精度を提供する必要があります。
どのツールを使用する必要がありますか?



Answer:



最新問題: **103**
ある企業は、既存の Ubuntu Linux サーバーをオンプレミスの vSphere インフラストラクチャから Azure に移行します。
仮想マシン (VM) のネットワーク スループットが 20 Mbps と低くなります。VM には次のことが期待されます。
300Mbpsを維持します。

VM が Azure と互換性があることを確認する必要があります。
どの変更を行う必要がありますか?
A. 高速ネットワークを有効にして VM を再デプロイします。
B. -azure で終わるカーネル名をインストールします。
C. TCP バッファーとウィンドウ サイズのカーネル パラメーターを増やします。
D. ネットワーク インターフェイスを 1000 Mbps/全二重に構成します。
Answer: D (メーッセージを残す)

最新問題**: 104**
会社は、RG1 という名前の Azure リソース グループを作成します。RG1 には、次のリソースをホストする sqlsvr1 という名前の Azure SQL Database 論理サーバーがあります。

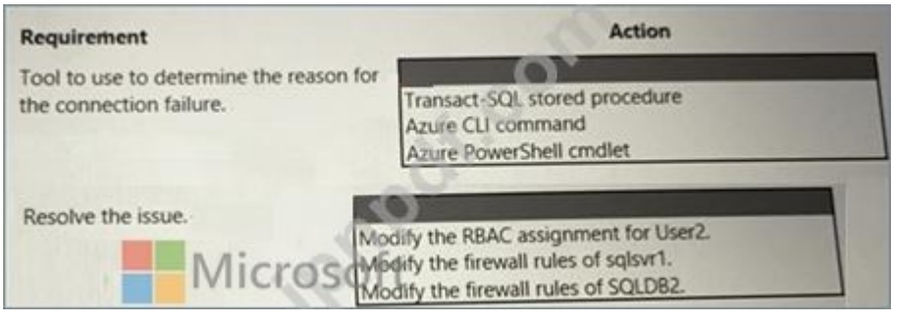
Resource	Description
VM1	Virtual machine
SQLDB1	Azure SQL database
SQLDB2	Azure SQL database

管理者は、User1 という名前のユーザーに RG1 の Reader RBAC ロールを付与します。管理者は User2 に sqlsvr1 の共同作成者ロールを付与します。
User1 は、IP アドレス 155.127.95.212 から SQLDB1 に接続できると報告しています。User1 は SQLDB2 に接続できません。User2 は、IP アドレス 121.19.27.18 から SQLDB1 と SQLDB2 の両方に接続できます。どちらのユーザーも VM1 から SQLDB1 と SQLDB2 に正常に接続できます。
あなたは、管理者による問題のトラブルシューティングを支援しています。次の PowerShell コマンドを実行します。
Get-AzSqlServerFirewallRule -ResourceGroupName 'RG1' -ServerName 'sqlsvr1' 次の出力が表示されます。

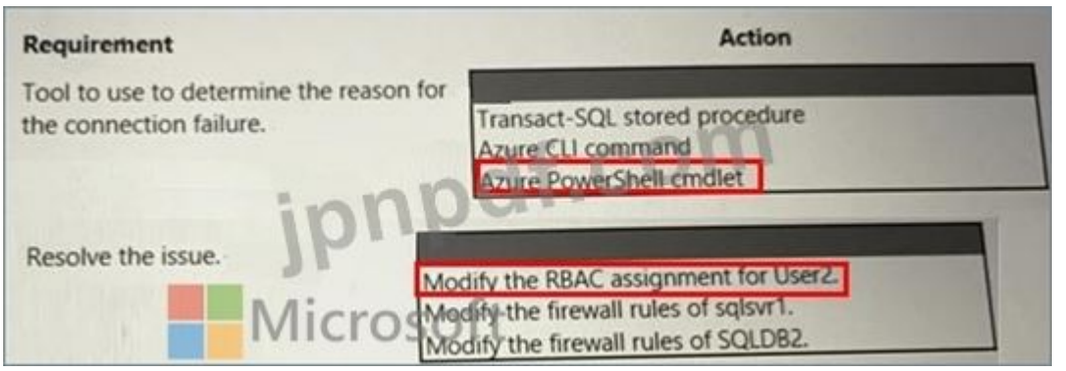
```
ResourceGroupName : RG1
ServerName        : sqlsvr1
StartIpAddress    : 0.0.0.0
EndIpAddress      : 0.0.0.0
FirewallRuleName  : Rule01

ResourceGroupName : RG1
ServerName        : sqlsvr1
StartIpAddress    : 72.225.0.0
EndIpAddress      : 72.225.255.255
FirewallRuleName  : Rule02
```

報告された問題の原因を特定し、User1 の問題を解決する必要があります。ソリューションは最小特権の原則を満たす必要があります。

あなたは何をするべきか？

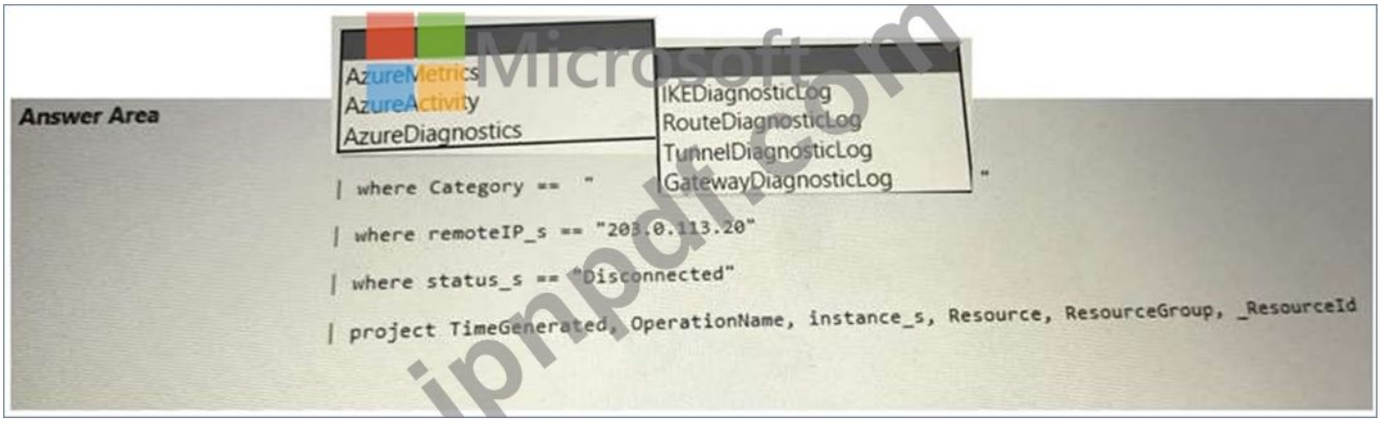


Answer:

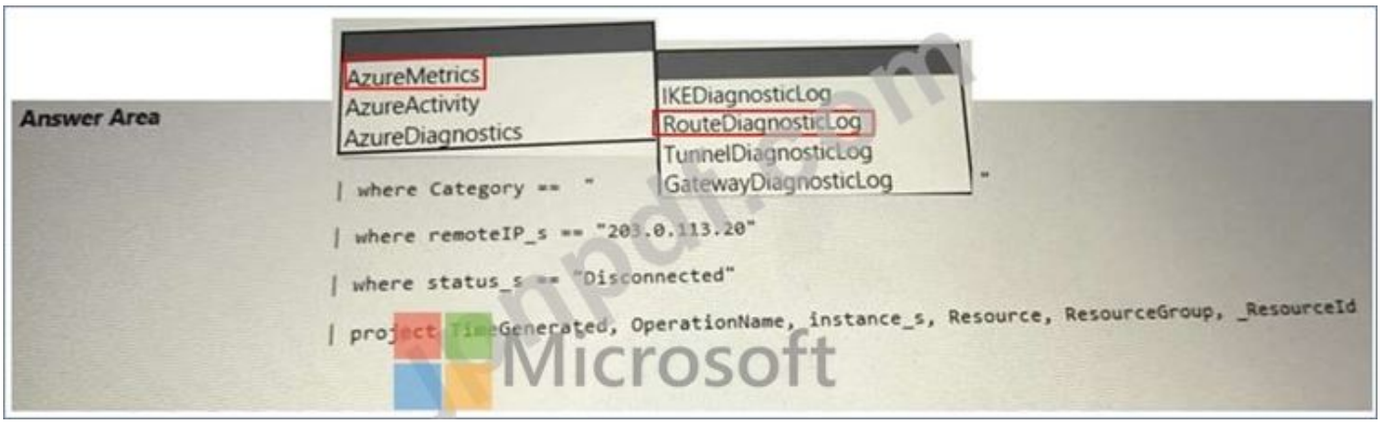


最新問題: **105**
ある企業は、ネットワーク仮想アプライアンス (VNA) と Azure Route Server を異なる仮想ネットワーク (VNet) でホストしています。デフォルト ルートをルート サーバーにアドバタイズした後、NVA 間でボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) ピアリングが有効になり、インターネット接続が失われます。
NVA で問題を解決する必要があります。
あなたは何をするべきか？
A. NVA 上で一意の自律システム番号 (ASN) を構成します。
B. ルート サーバーを NVA と同じ VNet に移動します。
C. NVA サブネット上にユーザー定義のルートを構成します。
D. ルート サーバー上でパブリック IP アドレスを構成します。
Answer: A (メーッセージを残す**)**

最新問題: **106**
ある企業は、IP アドレス 203.0.113.20 の Azure VPN ゲートウェイを使用しています。
ユーザーは、VPN 接続が頻繁に切断されると報告しています。
それぞれの接続障害がいつ発生したかを判断する必要があります。
Azure Monitor クエリはどのように完了すればよいですか?



Answer:



有効な **AZ-720** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい AZ-720 試験問題集！GoShiken.com が最新の **AZ-720** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com AZ-720 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com AZ-720 問題集をゲットする人はこちら: https://www.goshiken.com/Microsoft/AZ-720-mondaishu.html (**121**30%OFF問題集溶と正解付きで **30%**ｗ特別割引コード**: Freepdfdumps**)

Valid AZ-720 Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing AZ-720 Exam! GoShiken.com now offer the **newest AZ-720 exam dumps**, the GoShiken.com AZ-720 exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com AZ-720 dumps with Test Engine here: https://www.goshiken.com/Microsoft/AZ-720-mondaishu.html (**121** Q&As Dumps, **30%OFF Special Discount: Freepdfdumps**)